

## 取組 27 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献



### 取組概要

地球温暖化に代表されるように、地球規模での環境変化が深刻な問題となっています。将来にわたって持続可能な地域社会を実現するため、環境と産業や社会との良好な関係の構築を目指します。

### 平成 20 年度の主な取組

太陽光発電をはじめとした自然エネルギーの導入を側面的に支援するほか、県民・企業の先進的取組に対する表彰制度や県民向けフォーラムの開催等の情報提供活動を行っています。

自然環境の保全や地球温暖化など、環境について学びたいと考えている方々の求めに応じて環境教育リーダーや地球温暖化防止活動推進員を派遣し、講演等を行っています。

環境に配慮した行動を実行しようとする方々に、県のポータルサイト「みやぎの環境情報館」等を通じて宣言をしていただく取組を進めています。

環境に配慮した車の運転「エコドライブ」の実践をラジオ CM や街頭の大型ビジョン CM により広く県民に呼びかけるとともに、エコドライブ宣伝ステッカーの交付やエコドライブ及び低公害車普及の優れた取組への表彰を行っています。

【認知度】（県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか）

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は52.0%，  
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は48.1%である。  
また、前回の『高認知群』は43.8%で、今回は前回より8.2ポイント高い。

性別

男性の『高認知群』は54.0%で、県全体より2.0ポイント高い。

女性の『高認知群』は50.5%で、県全体より1.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は53.6%で、県全体より1.6ポイント高い。

65歳以上の『高認知群』は49.7%で、県全体より2.3ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-27-1 取組27 認知度割合(属性別)

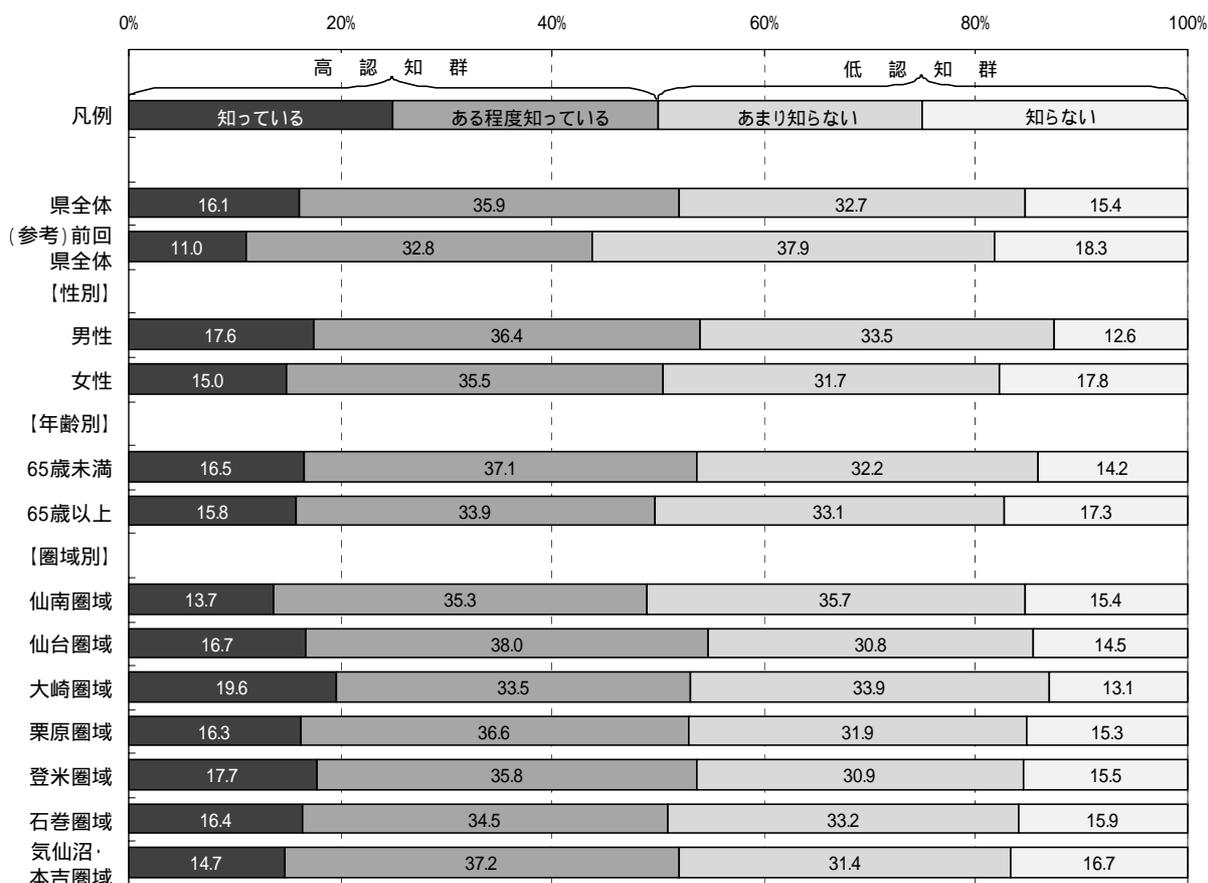


表2-2-27-1 取組27 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない	合計		
県全体	度数	297	663	604	285	1,849	95	1,944
	パーセント	16.1	35.9	32.7	15.4	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	195	580	670	323	1,768	74	1,842
	パーセント	11.0	32.8	37.9	18.3	100.0		
【性別】								
男性	度数	152	315	290	109	866	28	894
	パーセント	17.6	36.4	33.5	12.6	100.0		
女性	度数	141	334	299	168	942	49	991
	パーセント	15.0	35.5	31.7	17.8	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	195	437	380	167	1,179	35	1,214
	パーセント	16.5	37.1	32.2	14.2	100.0		
65歳以上	度数	98	210	205	107	620	44	664
	パーセント	15.8	33.9	33.1	17.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	33	85	86	37	241	7	248
	パーセント	13.7	35.3	35.7	15.4	100.0		
仙台圏域	度数	39	89	72	34	234	15	249
	パーセント	16.7	38.0	30.8	14.5	100.0		
大崎圏域	度数	48	82	83	32	245	9	254
	パーセント	19.6	33.5	33.9	13.1	100.0		
栗原圏域	度数	48	108	94	45	295	10	305
	パーセント	16.3	36.6	31.9	15.3	100.0		
登米圏域	度数	47	95	82	41	265	14	279
	パーセント	17.7	35.8	30.9	15.5	100.0		
石巻圏域	度数	37	78	75	36	226	3	229
	パーセント	16.4	34.5	33.2	15.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	38	96	81	43	258	16	274
	パーセント	14.7	37.2	31.4	16.7	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は75.6%、  
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は24.4%である。

性別

男性の『高関心群』は79.0%で、県全体より3.4ポイント高い。

女性の『高関心群』は72.8%で、県全体より2.8ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は79.7%で、県全体より4.1ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は68.4%で、県全体より7.2ポイント低い。

圏域別

気仙沼・本吉圏域の『高関心群』は70.3%で、県全体より5.3ポイント低い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-27-2 取組27 関心度割合(属性別)

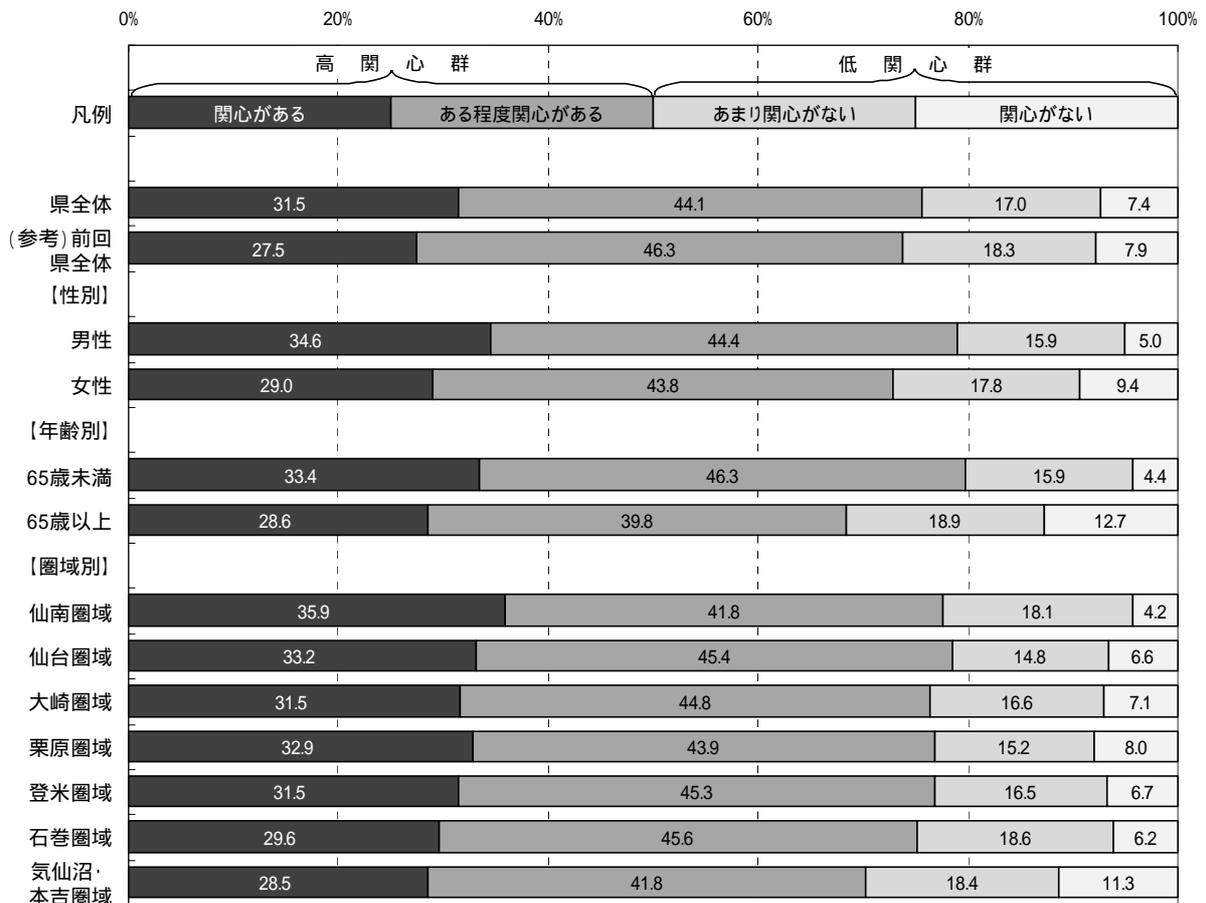


表2-2-27-2 取組27 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	571	801	309	134	1,815	129	1,944
	パーセント	31.5	44.1	17.0	7.4	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	475	799	316	136	1,726	116	1,842
	パーセント	27.5	46.3	18.3	7.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	295	379	136	43	853	41	894
	パーセント	34.6	44.4	15.9	5.0	100.0		
女性	度数	268	404	164	87	923	68	991
	パーセント	29.0	43.8	17.8	9.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	390	541	186	51	1,168	46	1,214
	パーセント	33.4	46.3	15.9	4.4	100.0		
65歳以上	度数	171	238	113	76	598	66	664
	パーセント	28.6	39.8	18.9	12.7	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	85	99	43	10	237	11	248
	パーセント	35.9	41.8	18.1	4.2	100.0		
仙台圏域	度数	76	104	34	15	229	20	249
	パーセント	33.2	45.4	14.8	6.6	100.0		
大崎圏域	度数	76	108	40	17	241	13	254
	パーセント	31.5	44.8	16.6	7.1	100.0		
栗原圏域	度数	95	127	44	23	289	16	305
	パーセント	32.9	43.9	15.2	8.0	100.0		
登米圏域	度数	80	115	42	17	254	25	279
	パーセント	31.5	45.3	16.5	6.7	100.0		
石巻圏域	度数	67	103	42	14	226	3	229
	パーセント	29.6	45.6	18.6	6.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	73	107	47	29	256	18	274
	パーセント	28.5	41.8	18.4	11.3	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は75.8%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は10.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が87.9%、『低重視群』は12.1%となる。

性別

男性の『高重視群』は78.9%で、県全体より3.1ポイント高い。

女性の『高重視群』は73.5%で、県全体より2.3ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は79.4%で、県全体より3.6ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は69.9%で、県全体より5.9ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 27 - 3 取組27 重視度割合(属性別)

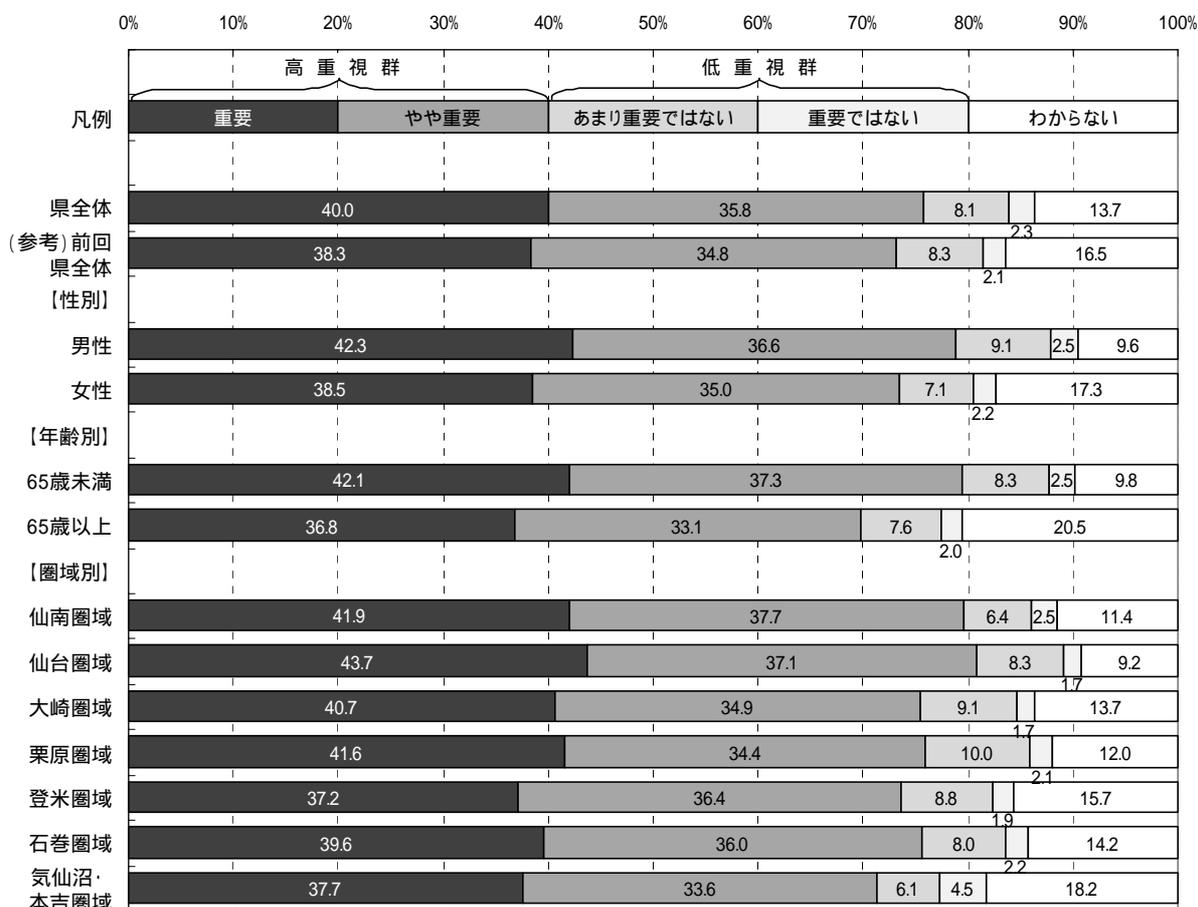


表2-2-27-3 取組27 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	わからない			
県全体	度数	724	648	147	42	248	1,809	135	1,944
	パーセント	40.0	35.8	8.1	2.3	13.7	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	46.4	41.5	9.4	2.7		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	667	606	144	37	287	1,741	101	1,842
	パーセント	38.3	34.8	8.3	2.1	16.5	100.0		
【性別】									
男性	度数	358	310	77	21	81	847	47	894
	パーセント	42.3	36.6	9.1	2.5	9.6	100.0		
女性	度数	354	322	65	20	159	920	71	991
	パーセント	38.5	35.0	7.1	2.2	17.3	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	492	436	97	29	115	1,169	45	1,214
	パーセント	42.1	37.3	8.3	2.5	9.8	100.0		
65歳以上	度数	217	195	45	12	121	590	74	664
	パーセント	36.8	33.1	7.6	2.0	20.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	99	89	15	6	27	236	12	248
	パーセント	41.9	37.7	6.4	2.5	11.4	100.0		
仙台圏域	度数	100	85	19	4	21	229	20	249
	パーセント	43.7	37.1	8.3	1.7	9.2	100.0		
大崎圏域	度数	98	84	22	4	33	241	13	254
	パーセント	40.7	34.9	9.1	1.7	13.7	100.0		
栗原圏域	度数	121	100	29	6	35	291	14	305
	パーセント	41.6	34.4	10.0	2.1	12.0	100.0		
登米圏域	度数	97	95	23	5	41	261	18	279
	パーセント	37.2	36.4	8.8	1.9	15.7	100.0		
石巻圏域	度数	89	81	18	5	32	225	4	229
	パーセント	39.6	36.0	8.0	2.2	14.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	93	83	15	11	45	247	27	274
	パーセント	37.7	33.6	6.1	4.5	18.2	100.0		

**【満足度】** (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は38.2%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は29.0%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が56.9%、『不満群』は43.2%となる。

性別

男性の『満足群』は37.7%で、県全体より0.5ポイント低い。

女性の『満足群』は38.9%で、県全体より0.7ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は37.2%で、県全体より1.0ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は41.0%で、県全体より2.8ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-27-4 取組27 満足度割合(属性別)

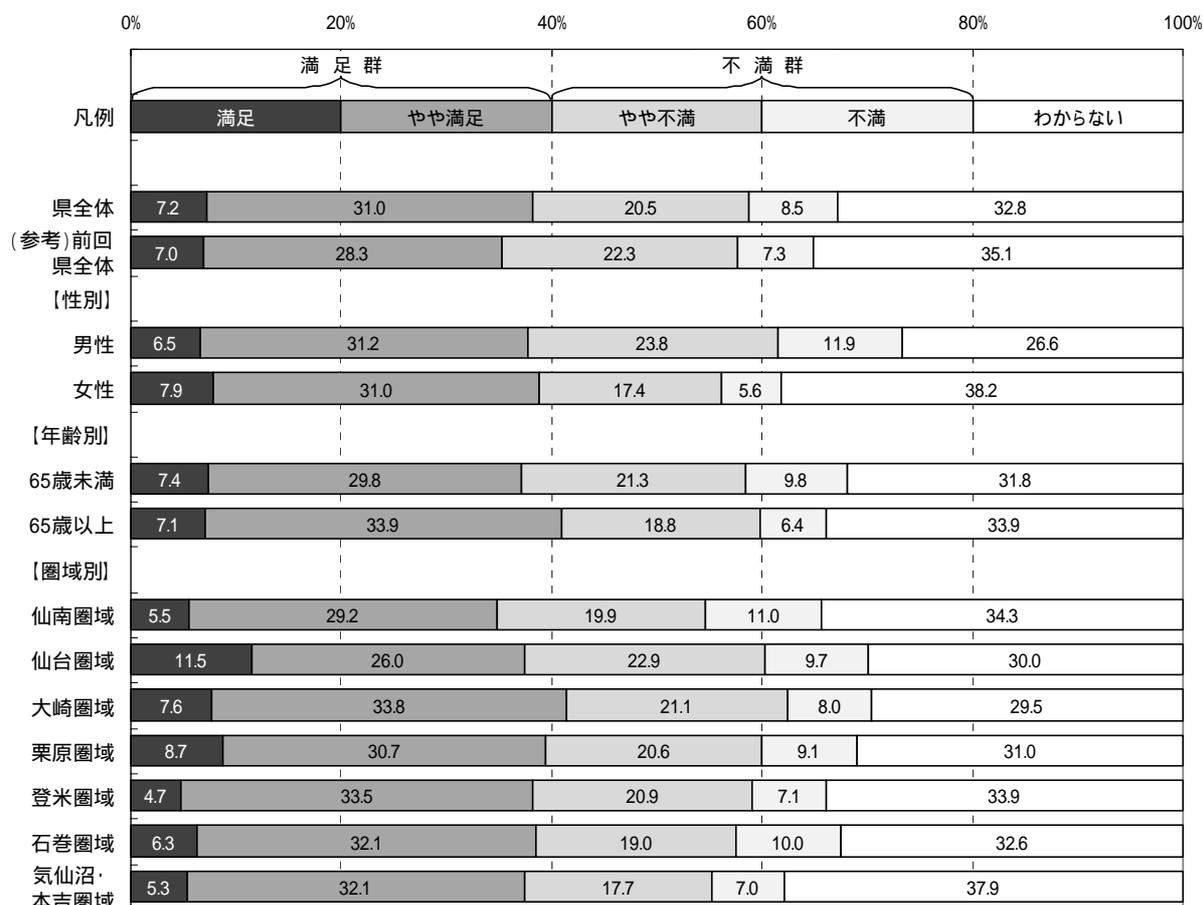


表2-2-27-4 取組27 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	129	552	365	152	584	1,782	162	1,944
	パーセント	7.2	31.0	20.5	8.5	32.8	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	10.8	46.1	30.5	12.7		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	119	483	381	125	598	1,706	136	1,842
	パーセント	7.0	28.3	22.3	7.3	35.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	55	262	200	100	224	841	53	894
	パーセント	6.5	31.2	23.8	11.9	26.6	100.0		
女性	度数	71	280	157	51	345	904	87	991
	パーセント	7.9	31.0	17.4	5.6	38.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	85	344	246	113	368	1,156	58	1,214
	パーセント	7.4	29.8	21.3	9.8	31.8	100.0		
65歳以上	度数	41	196	109	37	196	579	85	664
	パーセント	7.1	33.9	18.8	6.4	33.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	13	69	47	26	81	236	12	248
	パーセント	5.5	29.2	19.9	11.0	34.3	100.0		
仙台圏域	度数	26	59	52	22	68	227	22	249
	パーセント	11.5	26.0	22.9	9.7	30.0	100.0		
大崎圏域	度数	18	80	50	19	70	237	17	254
	パーセント	7.6	33.8	21.1	8.0	29.5	100.0		
栗原圏域	度数	25	88	59	26	89	287	18	305
	パーセント	8.7	30.7	20.6	9.1	31.0	100.0		
登米圏域	度数	12	85	53	18	86	254	25	279
	パーセント	4.7	33.5	20.9	7.1	33.9	100.0		
石巻圏域	度数	14	71	42	22	72	221	8	229
	パーセント	6.3	32.1	19.0	10.0	32.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	13	78	43	17	92	243	31	274
	パーセント	5.3	32.1	17.7	7.0	37.9	100.0		

## 【特に優先すべきと思う項目】

取組 27 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 環境に関する情報の発信と、家庭、学校、地域社会や職場などで環境について学ぶ機会の充実
- イ グリーン購入やエコドライブなど、社会で活動するものすべてが、日常的に、当たり前環境に配慮して行動できるようにするための普及啓発の促進
- ウ バイオマスエネルギーなど我が県の地域特性を生かした自然エネルギーの地産地消費、県民や事業者が一体となった省エネルギー活動などの地球温暖化対策の推進
- エ 県が事業を行う場合の物品購入や入札で、環境に配慮した活動を行う企業や製品を優遇するなどの率先行動の実施
- オ 環境新技術の開発支援や、自然環境の保全や水源かん養など農林産業の多面的機能に注目した取組支援など、環境に配慮した産業活動の支援

(参考:目標とする宮城の姿)

さまざまな場面で多くの県民が環境について考え、行動するようになってきました。日常生活や事業活動では、省エネルギーや自然エネルギーの利用など、エネルギーを効率的に利用する取組が進んでいます。企業は社会的責任を意識し、環境を重視した経営を行っています。消費者は環境に配慮した製品やサービス、農林水産物を選んで購入しています。さまざまな団体が連携・協力しながら環境を守る活動をしています。また、環境を重視する企業や環境に関連する産業が成長し、環境負荷の少ない社会づくりと経済発展の両立が進んでいます。

### < 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア(ア)	オ	ア	イ	ア
第2位:	イ(オ)	ア	イ	ア	オ
第3位:	オ(ウ)	イ	ウ	ウ	ウ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	イ	イ	ア	ア	ア	イ	ア
第2位:	ウ	ア	イ	オ	イ	ア	ウ
第3位:	オ	ウ	ウ	イ	オ	ウ	オ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。  
( )内は、前回の優先順位

取組27「環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献」

図2-2-27-5 取組27 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

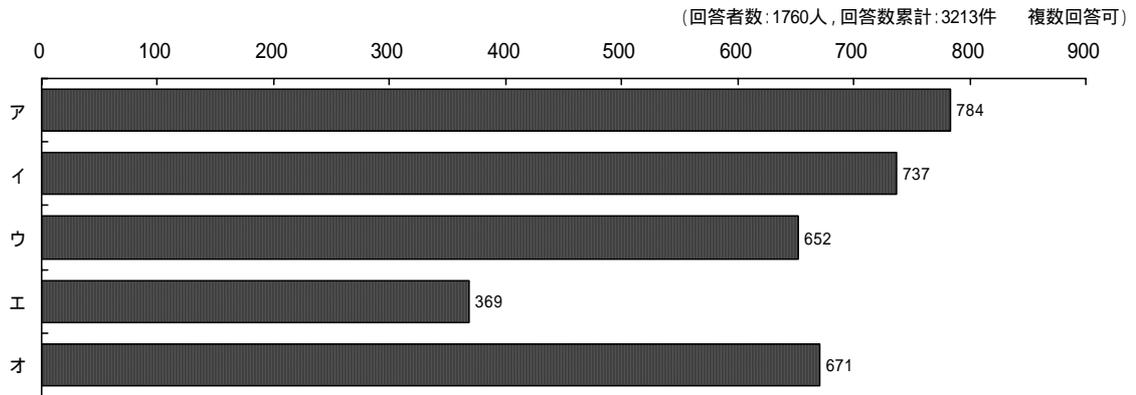
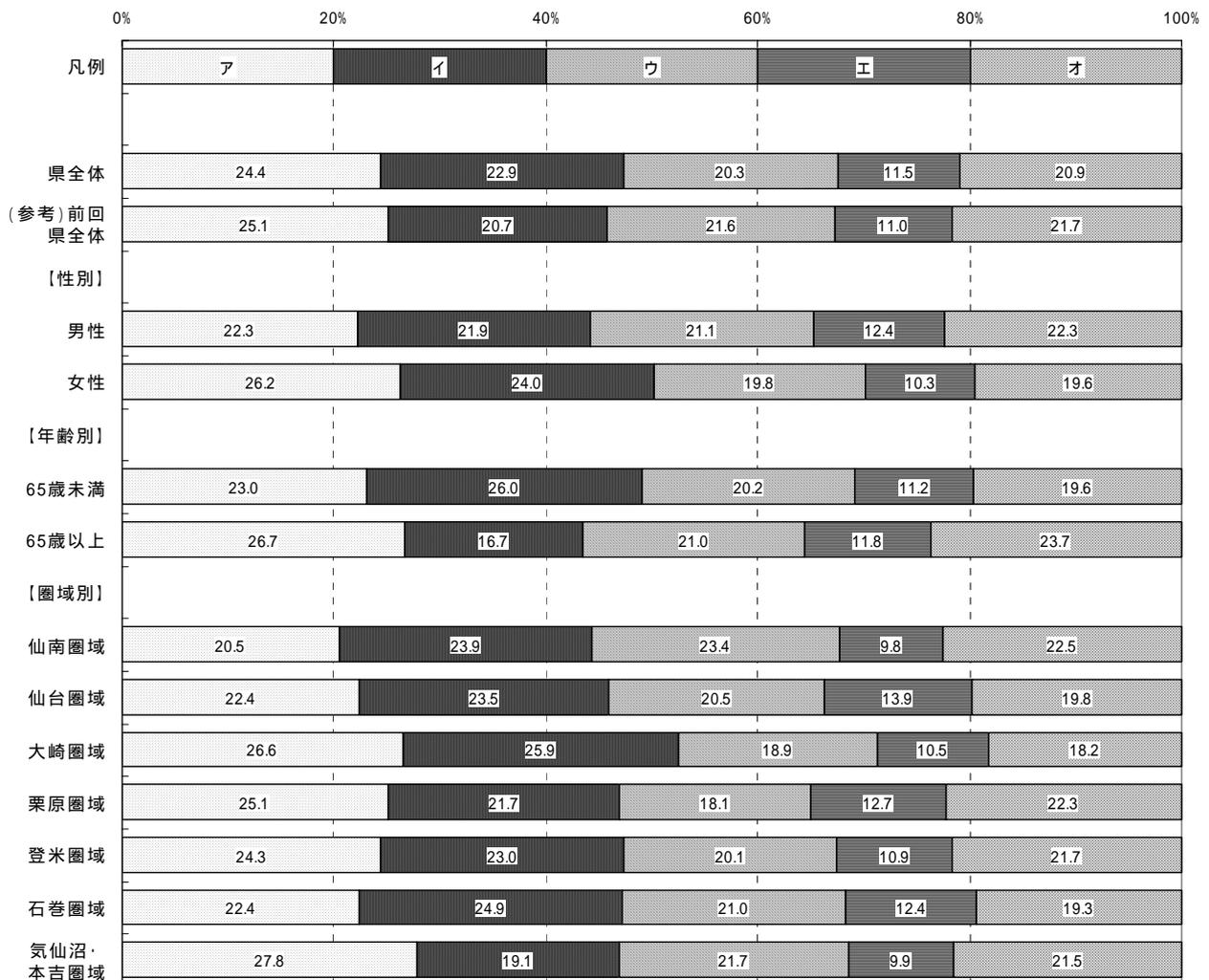


図2-2-27-6 取組27 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 2.7 「環境に配慮した社会経済システムの構築と  
地球環境保全への貢献」

## 取組 2 8 廃棄物等の 3 R（発生抑制・再使用・再生利用）と適正処理の推進



### 取組概要

大量生産・大量消費・大量廃棄型の従来社会の在り方は、廃棄物排出量の増大や環境汚染などさまざまな環境問題を発生させてきました。県は、適正処理の推進にとどまらず、資源を有効に活用し、廃棄物をリサイクルして環境にできるだけ負担をかけない循環型社会の実現を目指します。

### 平成 2 0 年度の主な取組

次代を担う子どもたちに、ごみの現状や 3 R の大切さを理解してもらうため、「みやぎ 3 R シアター」の公演を県内の市町村のイベントや小学校で行っています。

資源循環コーディネーターを企業に派遣し、地域の企業同士のリサイクルシステムの構築支援や廃棄物の 3 R など環境関連の取組への情報提供、助言などを行っています。

環境・リサイクル関連企業の立地を促すため、みやぎエコファクトリー（環境・リサイクル産業が立地するモデル団地）に立地する企業に対して奨励金を交付しています。

廃棄物の 3 R を進めるために設備を整備する場合や技術的な課題によりリサイクルが困難な産業廃棄物の 3 R を進めるための技術開発を行う場合、その事業者等に対して補助金を交付しています。

リサイクルの重要性を啓発するため、バス会社と連携して廃食用油をリサイクルした燃料（バイオディーゼル燃料）による路線バスの運行、バイオディーゼル燃料シンポジウムの開催を実施しています。

産廃処理施設・業者に対する監視指導や産廃 Gメンによるパトロールを強化し、悪質な違反行為には厳しく対処しています。また、産廃処理ルールの周知徹底など不適正処理の未然防止にも努めています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は 56.7% ,  
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は 43.3% である。

性別

男性の『高認知群』は 61.1% で、県全体より 4.4 ポイント高い。

女性の『高認知群』は 53.2% で、県全体より 3.5 ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は 55.2% で、県全体より 1.5 ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は 60.8% で、県全体より 4.1 ポイント高い。

圏域別

登米圏域の『高認知群』は 64.2% で、県全体より 7.5 ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『高認知群』は 51.5% で、県全体より 5.2 ポイント低い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が 5.0 ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 28 - 1 取組 28 認知度割合 (属性別)

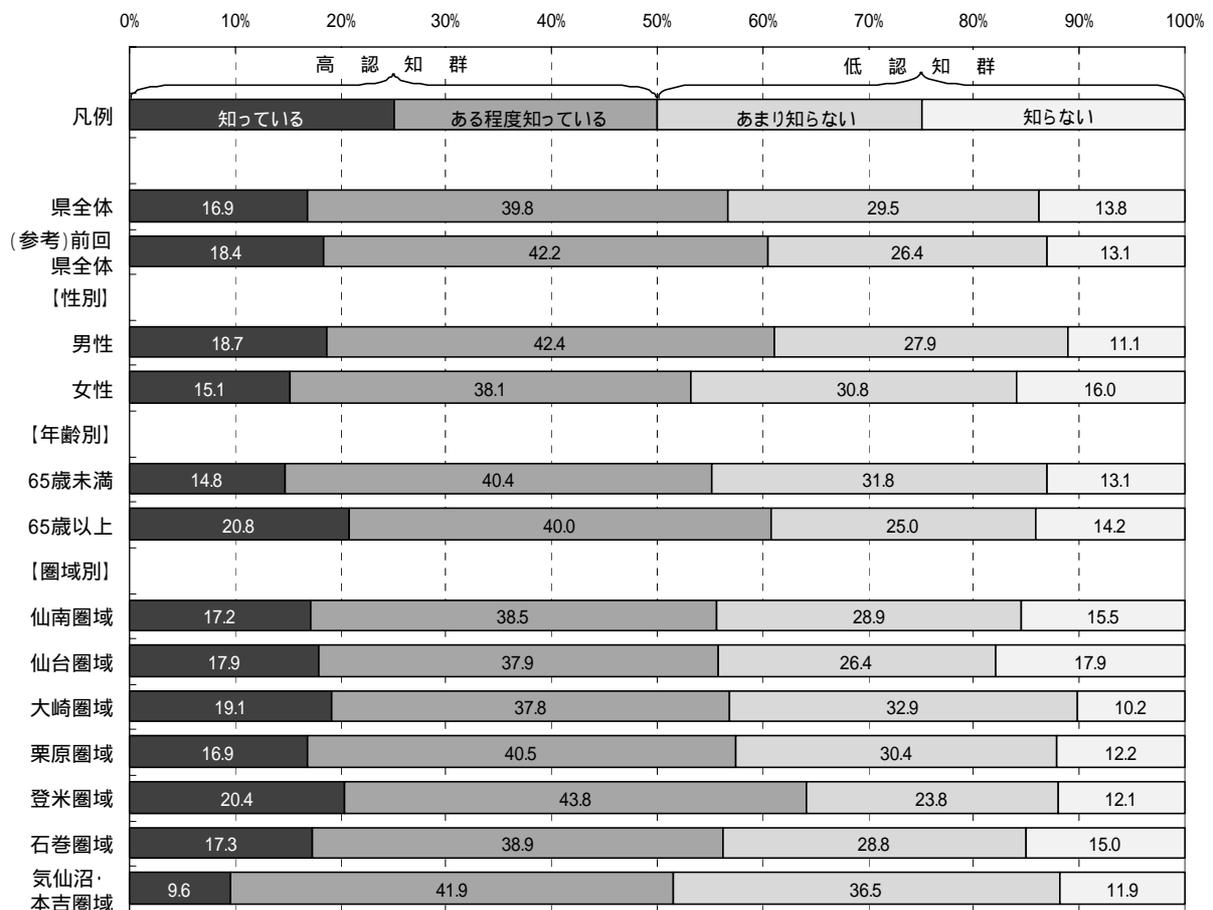


表２－２－２８－１ 取組２８ 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない	合計		
県全体	度数	313	738	547	255	1,853	91	1,944
	パーセント	16.9	39.8	29.5	13.8	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	325	747	467	232	1,771	71	1,842
	パーセント	18.4	42.2	26.4	13.1	100.0		
【性別】								
男性	度数	162	368	242	96	868	26	894
	パーセント	18.7	42.4	27.9	11.1	100.0		
女性	度数	143	360	291	151	945	46	991
	パーセント	15.1	38.1	30.8	16.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	175	478	376	155	1,184	30	1,214
	パーセント	14.8	40.4	31.8	13.1	100.0		
65歳以上	度数	129	248	155	88	620	44	664
	パーセント	20.8	40.0	25.0	14.2	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	41	92	69	37	239	9	248
	パーセント	17.2	38.5	28.9	15.5	100.0		
仙台圏域	度数	42	89	62	42	235	14	249
	パーセント	17.9	37.9	26.4	17.9	100.0		
大崎圏域	度数	47	93	81	25	246	8	254
	パーセント	19.1	37.8	32.9	10.2	100.0		
栗原圏域	度数	50	120	90	36	296	9	305
	パーセント	16.9	40.5	30.4	12.2	100.0		
登米圏域	度数	54	116	63	32	265	14	279
	パーセント	20.4	43.8	23.8	12.1	100.0		
石巻圏域	度数	39	88	65	34	226	3	229
	パーセント	17.3	38.9	28.8	15.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	25	109	95	31	260	14	274
	パーセント	9.6	41.9	36.5	11.9	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は 81.8%、  
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は 18.3%である。  
また、前回の『高関心群』は 85.9%で、今回は前回より 4.1ポイント低い。

性別

男性の『高関心群』は 84.8%で、県全体より 3.0ポイント高い。

女性の『高関心群』は 78.9%で、県全体より 2.9ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は 83.4%で、県全体より 1.6ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は 78.9%で、県全体より 2.9ポイント低い。

圏域別

仙南圏域の『高関心群』は 88.5%で、県全体より 6.7ポイント高い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が 5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 28 - 2 取組 2 8 関心度割合(属性別)

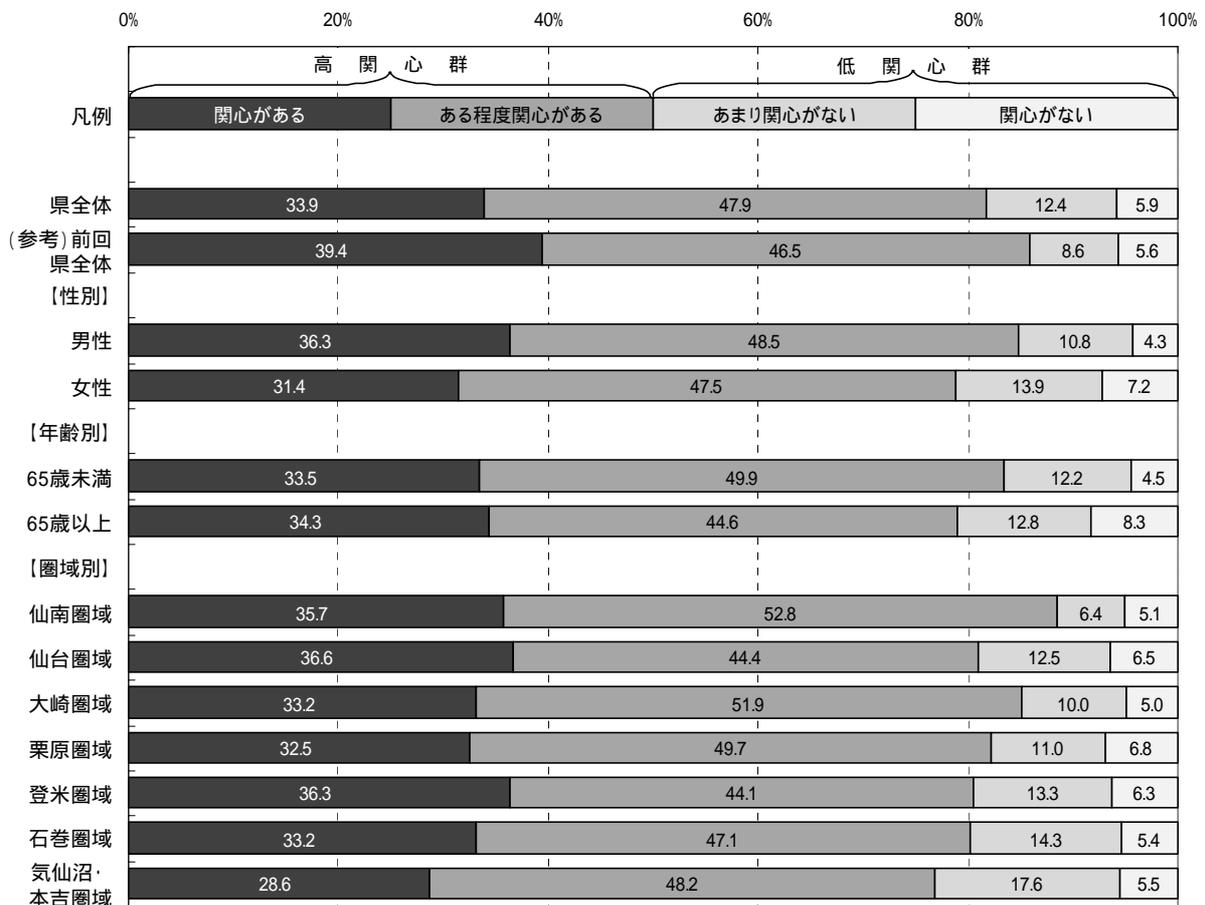


表2-2-28-2 取組28 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	615	869	225	107	1,816	128	1,944
	パーセント	33.9	47.9	12.4	5.9	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	681	804	148	97	1,730	112	1,842
	パーセント	39.4	46.5	8.6	5.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	309	413	92	37	851	43	894
	パーセント	36.3	48.5	10.8	4.3	100.0		
女性	度数	291	440	129	67	927	64	991
	パーセント	31.4	47.5	13.9	7.2	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	391	582	142	52	1,167	47	1,214
	パーセント	33.5	49.9	12.2	4.5	100.0		
65歳以上	度数	207	269	77	50	603	61	664
	パーセント	34.3	44.6	12.8	8.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	84	124	15	12	235	13	248
	パーセント	35.7	52.8	6.4	5.1	100.0		
仙台圏域	度数	85	103	29	15	232	17	249
	パーセント	36.6	44.4	12.5	6.5	100.0		
大崎圏域	度数	80	125	24	12	241	13	254
	パーセント	33.2	51.9	10.0	5.0	100.0		
栗原圏域	度数	95	145	32	20	292	13	305
	パーセント	32.5	49.7	11.0	6.8	100.0		
登米圏域	度数	93	113	34	16	256	23	279
	パーセント	36.3	44.1	13.3	6.3	100.0		
石巻圏域	度数	74	105	32	12	223	6	229
	パーセント	33.2	47.1	14.3	5.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	73	123	45	14	255	19	274
	パーセント	28.6	48.2	17.6	5.5	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は 82.0%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は 6.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が 93.1%、『低重視群』は 6.9%となる。

性別

男性の『高重視群』は 85.8%で、県全体より 3.8ポイント高い。

女性の『高重視群』は 78.8%で、県全体より 3.2ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は 83.5%で、県全体より 1.5ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は 79.6%で、県全体より 2.4ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て 5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 28 - 3 取組 28 重視度割合 (属性別)

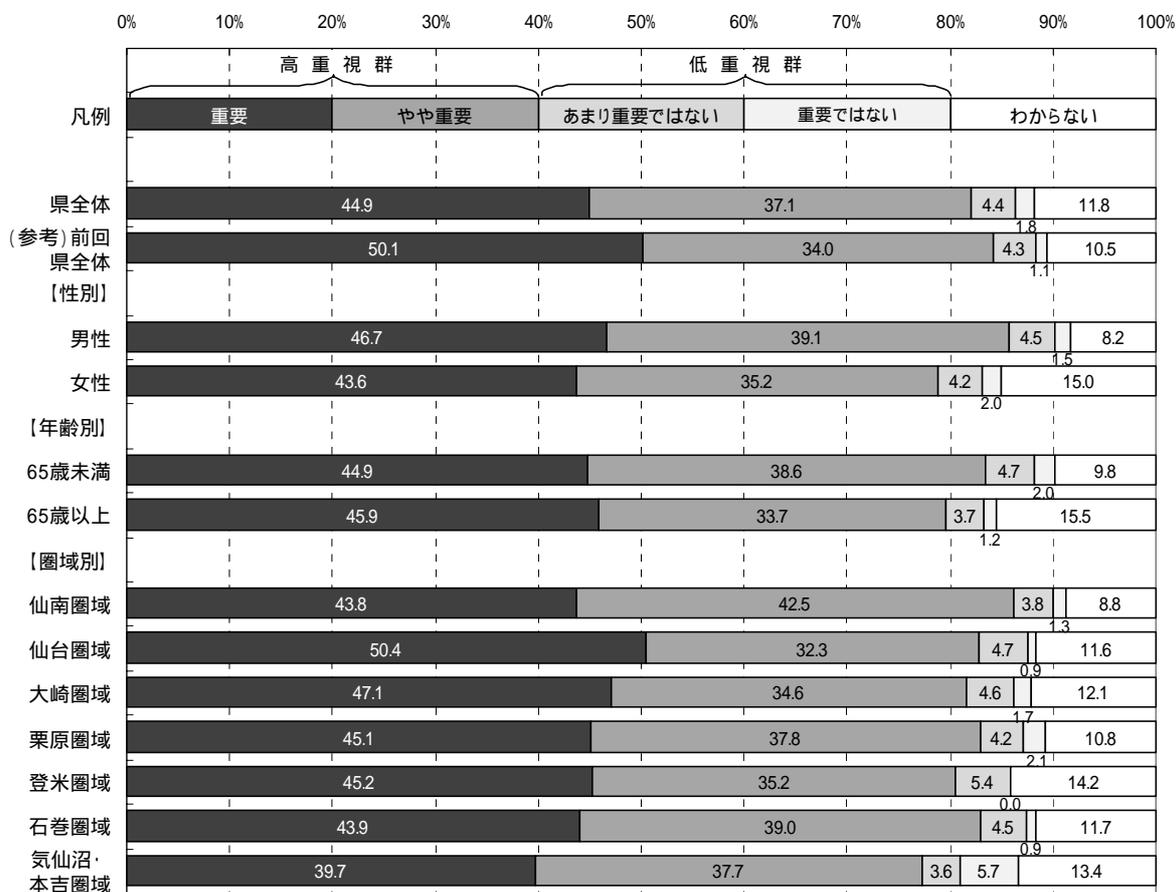


表 2 - 2 - 2 8 - 3 取組 2 8 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重 要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	合計		
県全体	度数	814	672	79	32	214	1,811	133	1,944
	パーセント	44.9	37.1	4.4	1.8	11.8	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	51.0	42.1	4.9	2.0		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	872	591	74	19	183	1,739	103	1,842
	パーセント	50.1	34.0	4.3	1.1	10.5	100.0		
【性別】									
男性	度数	397	333	38	13	70	851	43	894
	パーセント	46.7	39.1	4.5	1.5	8.2	100.0		
女性	度数	402	324	39	18	138	921	70	991
	パーセント	43.6	35.2	4.2	2.0	15.0	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	527	454	55	24	115	1,175	39	1,214
	パーセント	44.9	38.6	4.7	2.0	9.8	100.0		
65歳以上	度数	270	198	22	7	91	588	76	664
	パーセント	45.9	33.7	3.7	1.2	15.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	105	102	9	3	21	240	8	248
	パーセント	43.8	42.5	3.8	1.3	8.8	100.0		
仙台圏域	度数	117	75	11	2	27	232	17	249
	パーセント	50.4	32.3	4.7	0.9	11.6	100.0		
大崎圏域	度数	113	83	11	4	29	240	14	254
	パーセント	47.1	34.6	4.6	1.7	12.1	100.0		
栗原圏域	度数	130	109	12	6	31	288	17	305
	パーセント	45.1	37.8	4.2	2.1	10.8	100.0		
登米圏域	度数	118	92	14	0	37	261	18	279
	パーセント	45.2	35.2	5.4	0.0	14.2	100.0		
石巻圏域	度数	98	87	10	2	26	223	6	229
	パーセント	43.9	39.0	4.5	0.9	11.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	98	93	9	14	33	247	27	274
	パーセント	39.7	37.7	3.6	5.7	13.4	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は 43.2%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は 28.7%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が 60.0%、「不満群」は 40.0%となる。

性別

男性の『満足群』は 45.0%で、県全体より 1.8ポイント高い。

女性の『満足群』は 41.1%で、県全体より 2.1ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は 40.5%で、県全体より 2.7ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は 48.3%で、県全体より 5.1ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が 5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 28 - 4 取組 2 8 満足度割合 (属性別)

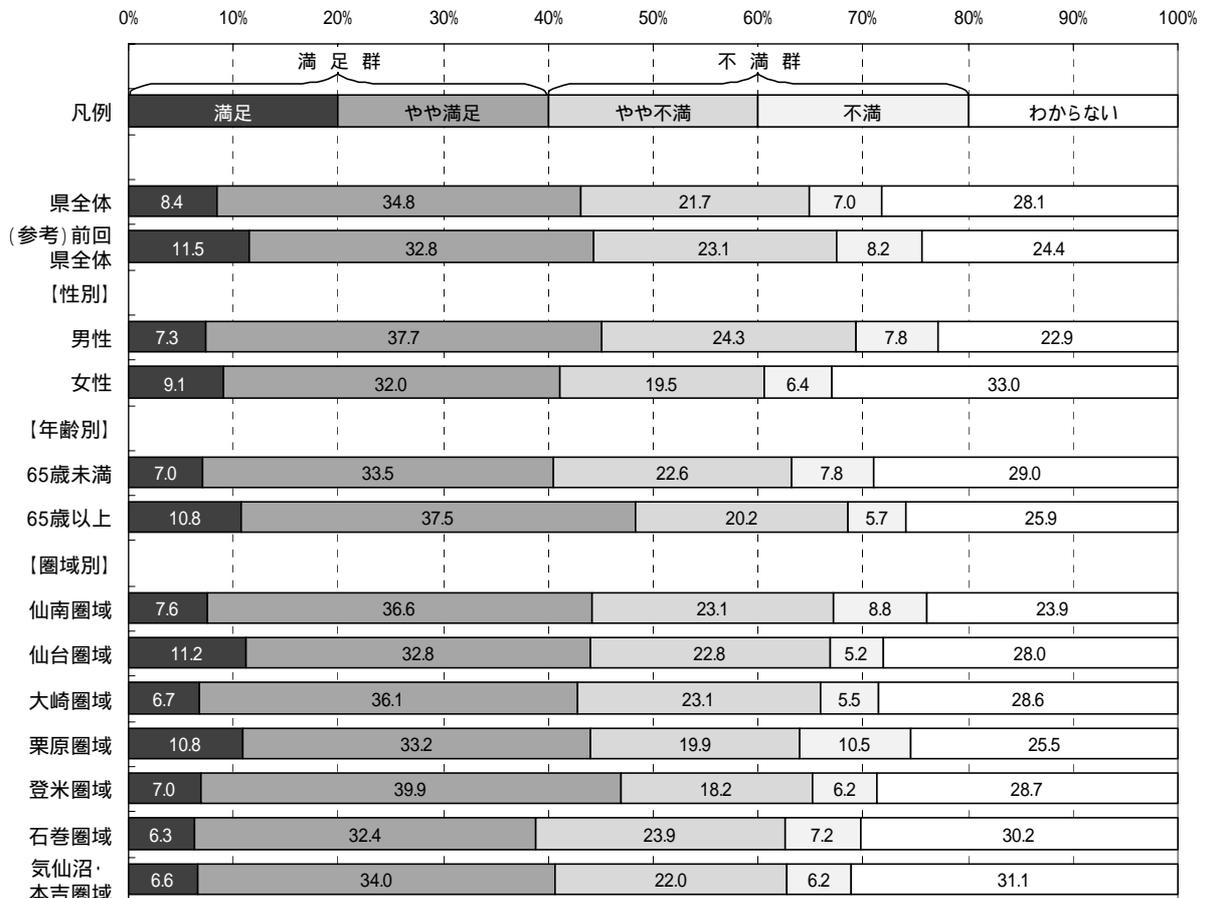


表 2 - 2 - 2 8 - 4 取組 2 8 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	150	624	390	125	505	1,794	150	1,944
	パーセント	8.4	34.8	21.7	7.0	28.1	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	11.6	48.4	30.3	9.7		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	196	559	393	139	415	1,702	140	1,842
	パーセント	11.5	32.8	23.1	8.2	24.4	100.0		
【性別】									
男性	度数	62	318	205	66	193	844	50	894
	パーセント	7.3	37.7	24.3	7.8	22.9	100.0		
女性	度数	83	292	178	58	301	912	79	991
	パーセント	9.1	32.0	19.5	6.4	33.0	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	82	390	263	91	338	1,164	50	1,214
	パーセント	7.0	33.5	22.6	7.8	29.0	100.0		
65歳以上	度数	63	219	118	33	151	584	80	664
	パーセント	10.8	37.5	20.2	5.7	25.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	18	87	55	21	57	238	10	248
	パーセント	7.6	36.6	23.1	8.8	23.9	100.0		
仙台圏域	度数	26	76	53	12	65	232	17	249
	パーセント	11.2	32.8	22.8	5.2	28.0	100.0		
大崎圏域	度数	16	86	55	13	68	238	16	254
	パーセント	6.7	36.1	23.1	5.5	28.6	100.0		
栗原圏域	度数	31	95	57	30	73	286	19	305
	パーセント	10.8	33.2	19.9	10.5	25.5	100.0		
登米圏域	度数	18	103	47	16	74	258	21	279
	パーセント	7.0	39.9	18.2	6.2	28.7	100.0		
石巻圏域	度数	14	72	53	16	67	222	7	229
	パーセント	6.3	32.4	23.9	7.2	30.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	16	82	53	15	75	241	33	274
	パーセント	6.6	34.0	22.0	6.2	31.1	100.0		

### 【特に優先すべきと思う項目】

取組 2 8 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア さまざまな場面での 3R 活動(ごみを出さない, 再使用する, 再生利用するなどの取組)を進めるための, 県民・事業者・市町村等への啓発活動の充実
- イ 日常生活や事業活動での廃棄物の発生を抑えたり, 資源として再利用する取組の促進
- ウ 製品の製造, 流通から廃棄までの各段階や, サービスの提供に伴う環境負荷低減の促進
- エ リサイクル施設の整備など 3R を支える社会的基盤の充実とリサイクル関連新技術開発の促進
- オ 廃棄物の適正処理を進めるため, 廃棄物を出す側の責任意識や県民の理解協力の促進と, 不法投棄等不適正処理の根絶に向けた監視指導の強化
- カ 廃棄物処理に関する情報公開を進めることによる透明性の確保と廃棄物処理に必要な施設の維持確保の促進

(参考: 目標とする宮城の姿)

資源循環の重要性や 3R の意識が県民や企業などに広まり, ごみをできるだけ出さない生活様式や事業活動が根付いています。

環境保護・省エネルギーに配慮した製品設計などに取り組む企業が増えています。

廃棄物の再資源化が進み, 最終処分量が減っています。また, 廃棄物を出す企業などの責任意識が高まり, 優良な業者による適正な廃棄物処理が行われています。

廃棄物の不適正処理が減っています。また, 廃棄物処理の必要性について県民の理解が進み, 必要な処理施設が確保されています。

#### < 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第 1 位から第 3 位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65 歳未満	65 歳以上
第 1 位:	ア(ア)	ア	ア	ア	ア
第 2 位:	イ(イ)	イ	イ	イ	イ
第 3 位:	オ(オ)	オ	エ	オ	オ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第 1 位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	イ
第 2 位:	イ	イ	イ	イ	イ	イ	ア
第 3 位:	オ	オ	オ	オ	エ	オ	オ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。  
( ) 内は、前回の優先順位

図2-2-28-5 取組28 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

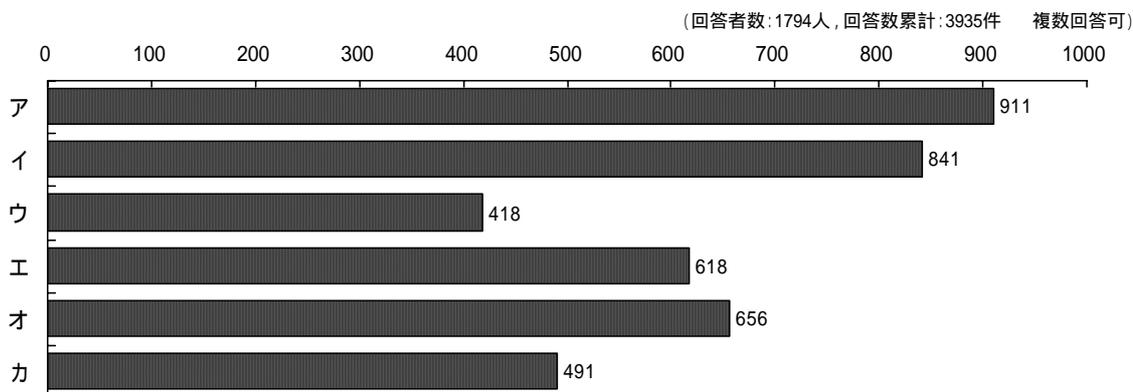
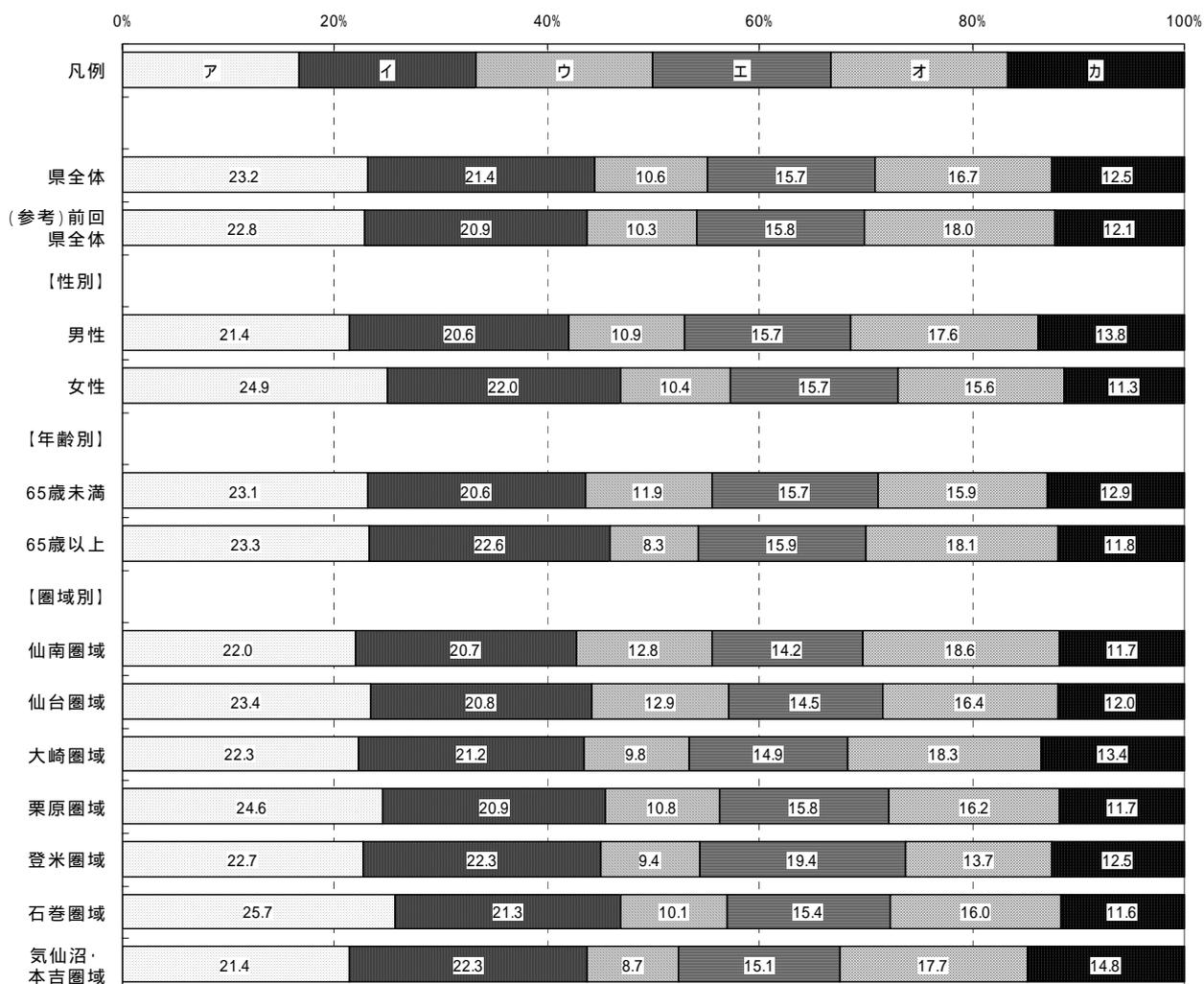


図2-2-28-6 取組28 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 2.8 「廃棄物等の 3R（発生抑制・再使用・再生利用）と適正処理の推進」

## 取組 2 9 豊かな自然環境 ,生活環境の保全



### 取組概要

県内の豊かで多様な自然環境を積極的に保全し、将来の世代に健全な姿で引き継いでいくことや、きれいな空気や水、土壌など、県民が健康で安心して暮らすことができる生活環境の保全を目指します。また、その取組に向けて、地域の人材育成や体制整備を目指します。

### 平成 2 0 年度の主な取組

金華山島の自然景観保全に向けた森林復元の各種取組を実施しています。また、蒲生干潟や伊豆沼・内沼の自然再生に向けた取組を行っています。

傷ついたり病気にかかった野生鳥獣を保護し、救護機関で治療しています。また、治療後、一時的にボランティア(アニマルレスキュー隊)が飼養し、野生復帰ができるように手助けしています。

県内の企業から苗木の提供を受け、大崎市の市有林内に地元の小学生や協賛団体等と共に、野球バットの原木となるアオダモをはじめとした広葉樹を植栽しています。

海藻(アカモク)を活用して、窒素やリンなどの栄養塩を吸収させ、水質を浄化させるとともに、多様な生態系の保全にもつなげ、さらには、新たな食材としてのアカモクの利用を推進しています。

農村環境の保全に向けて、地域や学校教育が連携して取り組む保全活動を推進するため、協働組織の育成や体制整備を支援しています。

私たちが生活していく上で重要な自然や生活環境の中で、美しい景観を保つ大切な松林を守るため、松枯れの原因となる松くい虫被害の防除を進めています。

**【認知度】** (県がこの取組を行っていたことについて，どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は45.2%，  
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は54.8%である。

性別

男性の『高認知群』は48.5%で，県全体より3.3ポイント高い。

女性の『高認知群』は42.4%で，県全体より2.8ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は41.2%で，県全体より4.0ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は53.7%で，県全体より8.5ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高認知群』は，県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-29-1 取組29 認知度割合(属性別)

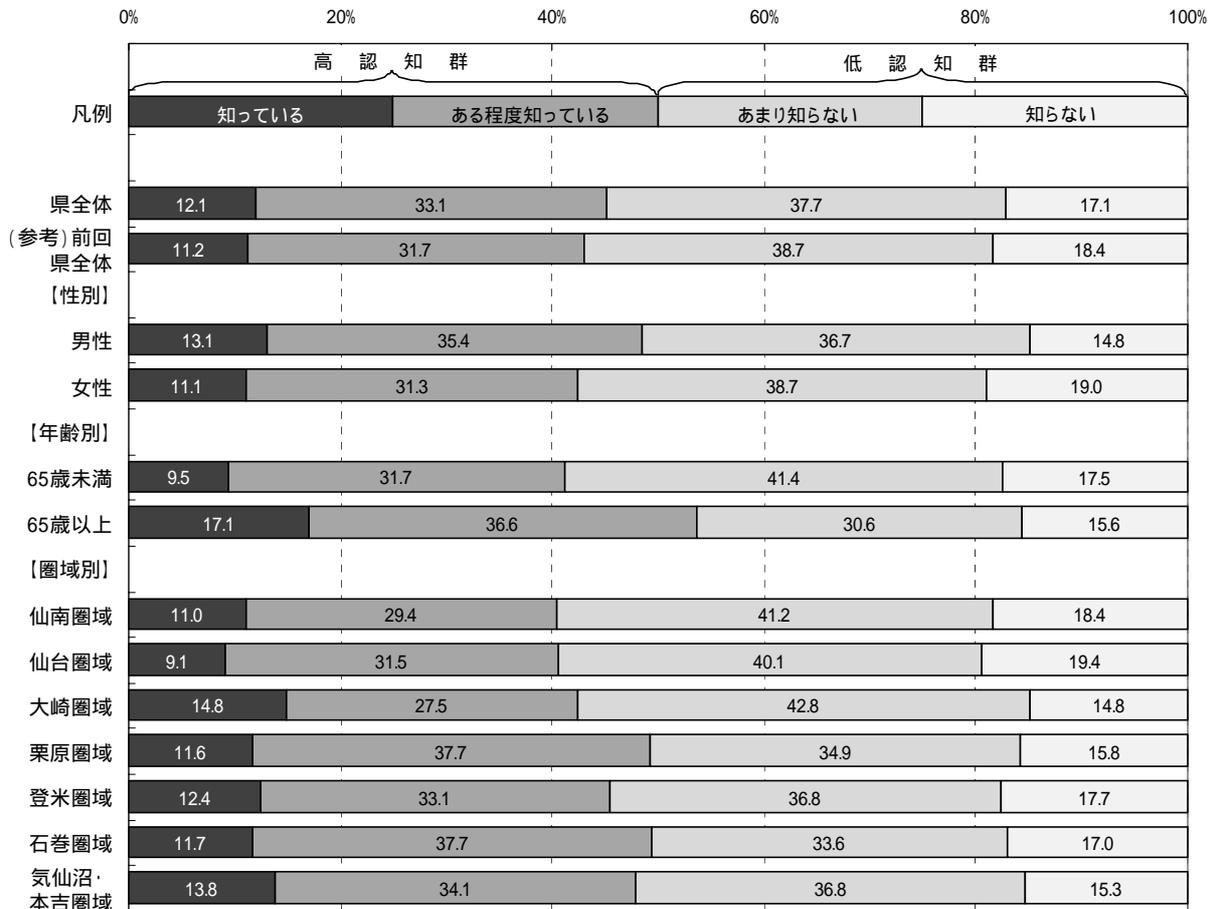


表2-2-29-1 取組29 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	222	608	694	315	1,839	105	1,944
	パーセント	12.1	33.1	37.7	17.1	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	199	561	685	325	1,770	72	1,842
	パーセント	11.2	31.7	38.7	18.4	100.0		
【性別】								
男性	度数	113	305	316	128	862	32	894
	パーセント	13.1	35.4	36.7	14.8	100.0		
女性	度数	104	294	363	178	939	52	991
	パーセント	11.1	31.3	38.7	19.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	111	371	485	205	1,172	42	1,214
	パーセント	9.5	31.7	41.4	17.5	100.0		
65歳以上	度数	106	227	190	97	620	44	664
	パーセント	17.1	36.6	30.6	15.6	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	27	72	101	45	245	3	248
	パーセント	11.0	29.4	41.2	18.4	100.0		
仙台圏域	度数	21	73	93	45	232	17	249
	パーセント	9.1	31.5	40.1	19.4	100.0		
大崎圏域	度数	35	65	101	35	236	18	254
	パーセント	14.8	27.5	42.8	14.8	100.0		
栗原圏域	度数	34	110	102	46	292	13	305
	パーセント	11.6	37.7	34.9	15.8	100.0		
登米圏域	度数	33	88	98	47	266	13	279
	パーセント	12.4	33.1	36.8	17.7	100.0		
石巻圏域	度数	26	84	75	38	223	6	229
	パーセント	11.7	37.7	33.6	17.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	36	89	96	40	261	13	274
	パーセント	13.8	34.1	36.8	15.3	100.0		

**【関心度】** (県が行ってきたこの取組の内容について，どのくらい関心があるか)

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は72.7%，  
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は27.3%である。

性別

男性の『高関心群』は75.2%で，県全体より2.5ポイント高い。

女性の『高関心群』は70.1%で，県全体より2.6ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は72.1%で，県全体より0.6ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は73.7%で，県全体より1.0ポイント高い。

圏域別

石巻圏域の『高関心群』は66.8%で，県全体より5.9ポイント低い。

その他の圏域の『高関心群』は，県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 29 - 2 取組 2 9 関心度割合 (属性別)

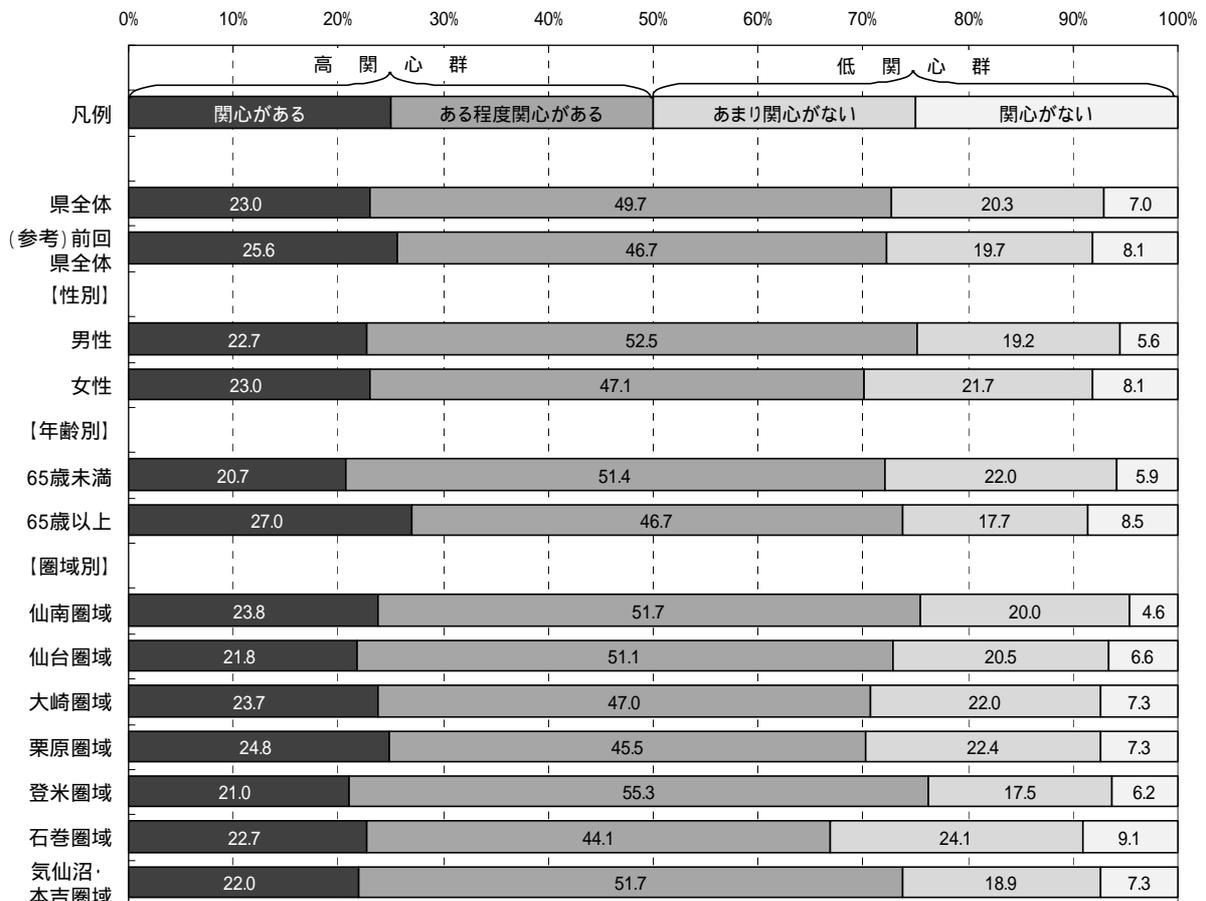


表 2 - 2 - 2 9 - 2 取組 2 9 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	414	895	366	126	1,801	143	1,944
	パーセント	23.0	49.7	20.3	7.0	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	442	805	339	139	1,725	117	1,842
	パーセント	25.6	46.7	19.7	8.1	100.0		
【性別】								
男性	度数	191	442	162	47	842	52	894
	パーセント	22.7	52.5	19.2	5.6	100.0		
女性	度数	213	436	201	75	925	66	991
	パーセント	23.0	47.1	21.7	8.1	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	240	595	255	68	1,158	56	1,214
	パーセント	20.7	51.4	22.0	5.9	100.0		
65歳以上	度数	162	280	106	51	599	65	664
	パーセント	27.0	46.7	17.7	8.5	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	57	124	48	11	240	8	248
	パーセント	23.8	51.7	20.0	4.6	100.0		
仙台圏域	度数	50	117	47	15	229	20	249
	パーセント	21.8	51.1	20.5	6.6	100.0		
大崎圏域	度数	55	109	51	17	232	22	254
	パーセント	23.7	47.0	22.0	7.3	100.0		
栗原圏域	度数	71	130	64	21	286	19	305
	パーセント	24.8	45.5	22.4	7.3	100.0		
登米圏域	度数	54	142	45	16	257	22	279
	パーセント	21.0	55.3	17.5	6.2	100.0		
石巻圏域	度数	50	97	53	20	220	9	229
	パーセント	22.7	44.1	24.1	9.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	57	134	49	19	259	15	274
	パーセント	22.0	51.7	18.9	7.3	100.0		

**【重視度】**（県がこの取組を今後行っていくことが，どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は73.3%，「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は11.7%である。

なお，回答全体から「わからない」を除き集計した場合，『高重視群』が86.3%，『低重視群』は13.7%となる。

性別

男性の『高重視群』は75.5%で，県全体より2.2ポイント高い。

女性の『高重視群』は71.2%で，県全体より2.1ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は73.0%で，県全体より0.3ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は73.9%で，県全体より0.6ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は，県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 29 - 3 取組 29 重視度割合(属性別)

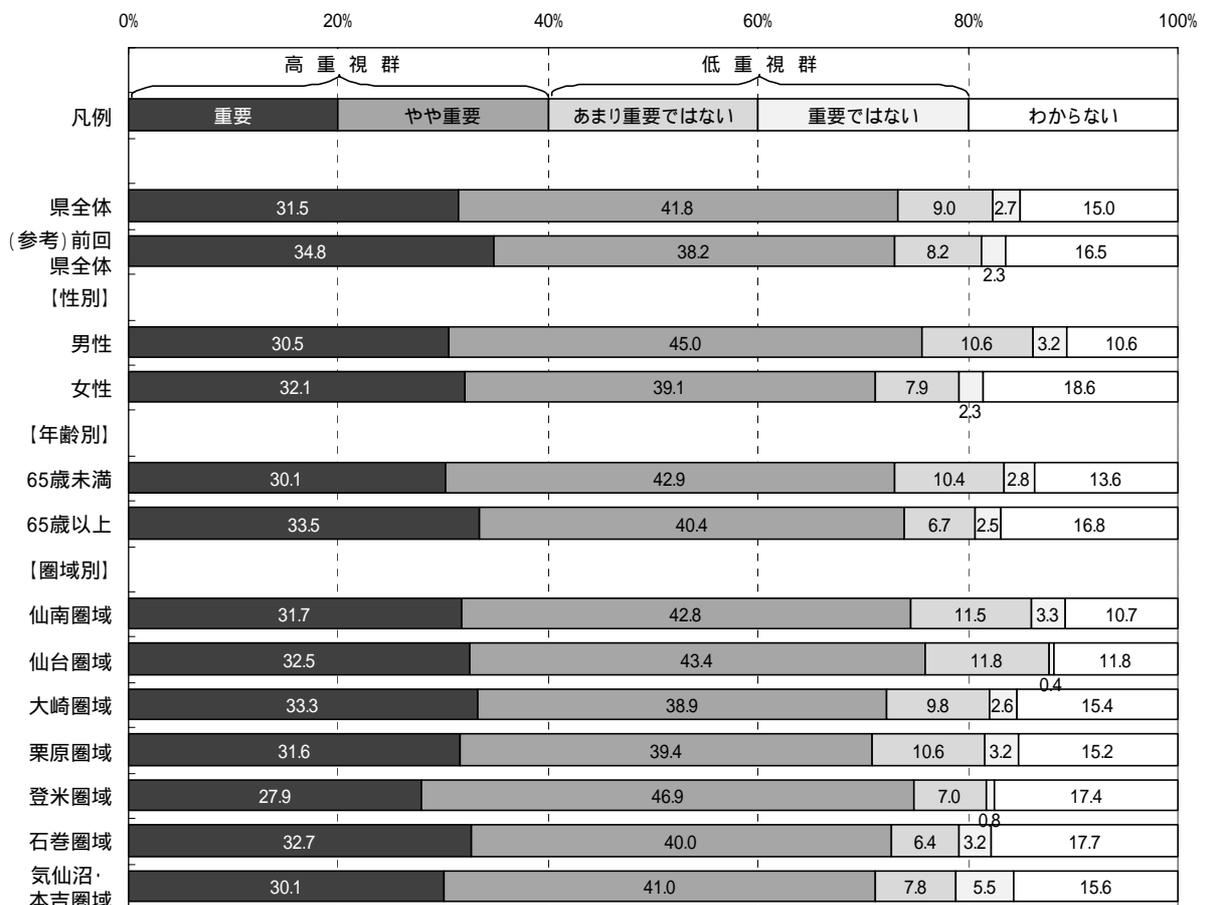


表2-2-29-3 取組29 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	合計		
県全体	度数	567	753	162	48	270	1,800	144	1,944
	パーセント	31.5	41.8	9.0	2.7	15.0	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	37.1	49.2	10.6	3.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	602	661	142	40	285	1,730	112	1,842
	パーセント	34.8	38.2	8.2	2.3	16.5	100.0		
【性別】									
男性	度数	259	382	90	27	90	848	46	894
	パーセント	30.5	45.0	10.6	3.2	10.6	100.0		
女性	度数	293	357	72	21	170	913	78	991
	パーセント	32.1	39.1	7.9	2.3	18.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	349	497	121	33	158	1,158	56	1,214
	パーセント	30.1	42.9	10.4	2.8	13.6	100.0		
65歳以上	度数	199	240	40	15	100	594	70	664
	パーセント	33.5	40.4	6.7	2.5	16.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	77	104	28	8	26	243	5	248
	パーセント	31.7	42.8	11.5	3.3	10.7	100.0		
仙台圏域	度数	74	99	27	1	27	228	21	249
	パーセント	32.5	43.4	11.8	0.4	11.8	100.0		
大崎圏域	度数	78	91	23	6	36	234	20	254
	パーセント	33.3	38.9	9.8	2.6	15.4	100.0		
栗原圏域	度数	89	111	30	9	43	282	23	305
	パーセント	31.6	39.4	10.6	3.2	15.2	100.0		
登米圏域	度数	72	121	18	2	45	258	21	279
	パーセント	27.9	46.9	7.0	0.8	17.4	100.0		
石巻圏域	度数	72	88	14	7	39	220	9	229
	パーセント	32.7	40.0	6.4	3.2	17.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	77	105	20	14	40	256	18	274
	パーセント	30.1	41.0	7.8	5.5	15.6	100.0		

**【満足度】**（県が行ってきたこの取組について，どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は41.5%，「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は23.9%である。

なお，回答全体から「わからない」を除き集計した場合，『満足群』が63.5%，『不満群』は36.5%となる。

性別

男性の『満足群』は43.6%で，県全体より2.1ポイント高い。

女性の『満足群』は39.6%で，県全体より1.9ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は38.1%で，県全体より3.4ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は48.9%で，県全体より7.4ポイント高い。

圏域別

仙台圏域の『満足群』は46.8%で，県全体より5.3ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は，県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 29 - 4 取組 29 満足度割合(属性別)

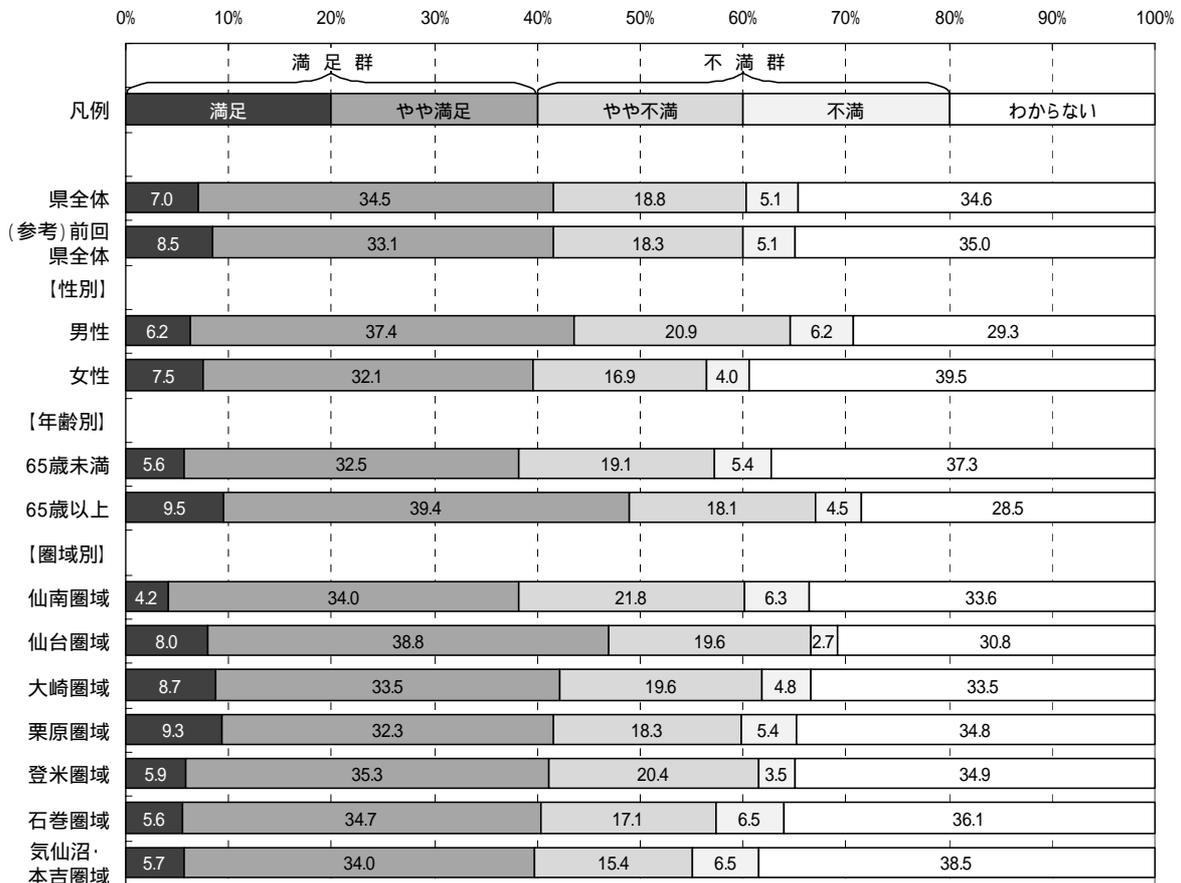


表 2 - 2 - 2 9 - 4 取組 2 9 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	124	609	331	90	611	1,765	179	1,944
	パーセント	7.0	34.5	18.8	5.1	34.6	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	10.7	52.8	28.7	7.8		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	145	567	314	87	599	1,712	130	1,842
	パーセント	8.5	33.1	18.3	5.1	35.0	100.0		
【性別】									
男性	度数	52	313	175	52	245	837	57	894
	パーセント	6.2	37.4	20.9	6.2	29.3	100.0		
女性	度数	67	286	151	36	352	892	99	991
	パーセント	7.5	32.1	16.9	4.0	39.5	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	64	371	218	62	426	1,141	73	1,214
	パーセント	5.6	32.5	19.1	5.4	37.3	100.0		
65歳以上	度数	55	228	105	26	165	579	85	664
	パーセント	9.5	39.4	18.1	4.5	28.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	10	81	52	15	80	238	10	248
	パーセント	4.2	34.0	21.8	6.3	33.6	100.0		
仙台圏域	度数	18	87	44	6	69	224	25	249
	パーセント	8.0	38.8	19.6	2.7	30.8	100.0		
大崎圏域	度数	20	77	45	11	77	230	24	254
	パーセント	8.7	33.5	19.6	4.8	33.5	100.0		
栗原圏域	度数	26	90	51	15	97	279	26	305
	パーセント	9.3	32.3	18.3	5.4	34.8	100.0		
登米圏域	度数	15	90	52	9	89	255	24	279
	パーセント	5.9	35.3	20.4	3.5	34.9	100.0		
石巻圏域	度数	12	75	37	14	78	216	13	229
	パーセント	5.6	34.7	17.1	6.5	36.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	14	84	38	16	95	247	27	274
	パーセント	5.7	34.0	15.4	6.5	38.5	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組 29 に関し，目標とする宮城の姿を目指して，県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。（複数回答可）

- ア 国定公園やラムサール条約湿地など，宮城の自然環境の保全・再生
- イ 多様な野生生物の保護管理
- ウ 住民と民間団体，事業者，行政などが，自然環境に関する情報を共有できる体制づくり
- エ 豊かな自然環境を守りながら，自然のもたらすやすらぎと潤いを楽しめるエコ・ツーリズムなど，自然環境の賢明な活用
- オ 身近にあるみどり豊かな空間の保全と，自然環境保全意識の醸成
- カ 上流から下流まで流域全体が協力・連携して行う，各流域の特性を生かした水にまつわる環境の保全
- キ 大気汚染や水質汚濁などの改善に向けた，公害に対する調査研究・技術開発

（参考：目標とする宮城の姿）

自然環境の保全，野生生物の保護とともに，損なわれた生態系の再生の取組が進んでいます。また，蔵王，栗駒，伊豆沼・内沼，松島湾や蒲生干潟など県内各地で，県民も巻き込んだ自然を守る取組が県内各地で行われています。県民やNPO，企業，国，市町村，大学などが連携し，自然環境を守る取組や環境学習・体験活動などが行われています。水田や里地里山，沿岸域などが，農林漁業の生産の場だけでなく，身近に自然と触れ合える場となっています。上流から下流まで流域全体が協力することで，水にまつわる環境が守られています。また，湖沼などの水質が改善しています。

< 概要 >

県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位：	キ(キ)	ア	キ	キ	工
第2位：	ア(オ)	キ	工	ア	ア
第3位：	工(エ)	カ	ア	工	キ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位：	キ	キ	キ	ア	ア	キ	キ
第2位：	工	カ	ア	I,キ	キ	ア	カ
第3位：	ア	工	工	-	オ	工	オ

I,キ同率

属性別の優先順位が県全体と異なる場合，項目記号を網掛けしている。

( )内は，前回の優先順位

図2 - 2 - 29 - 5 取組2 9 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

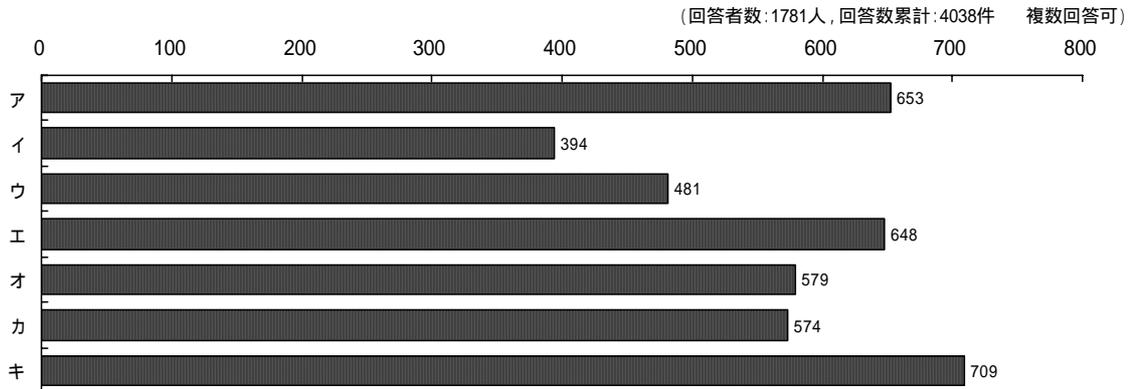
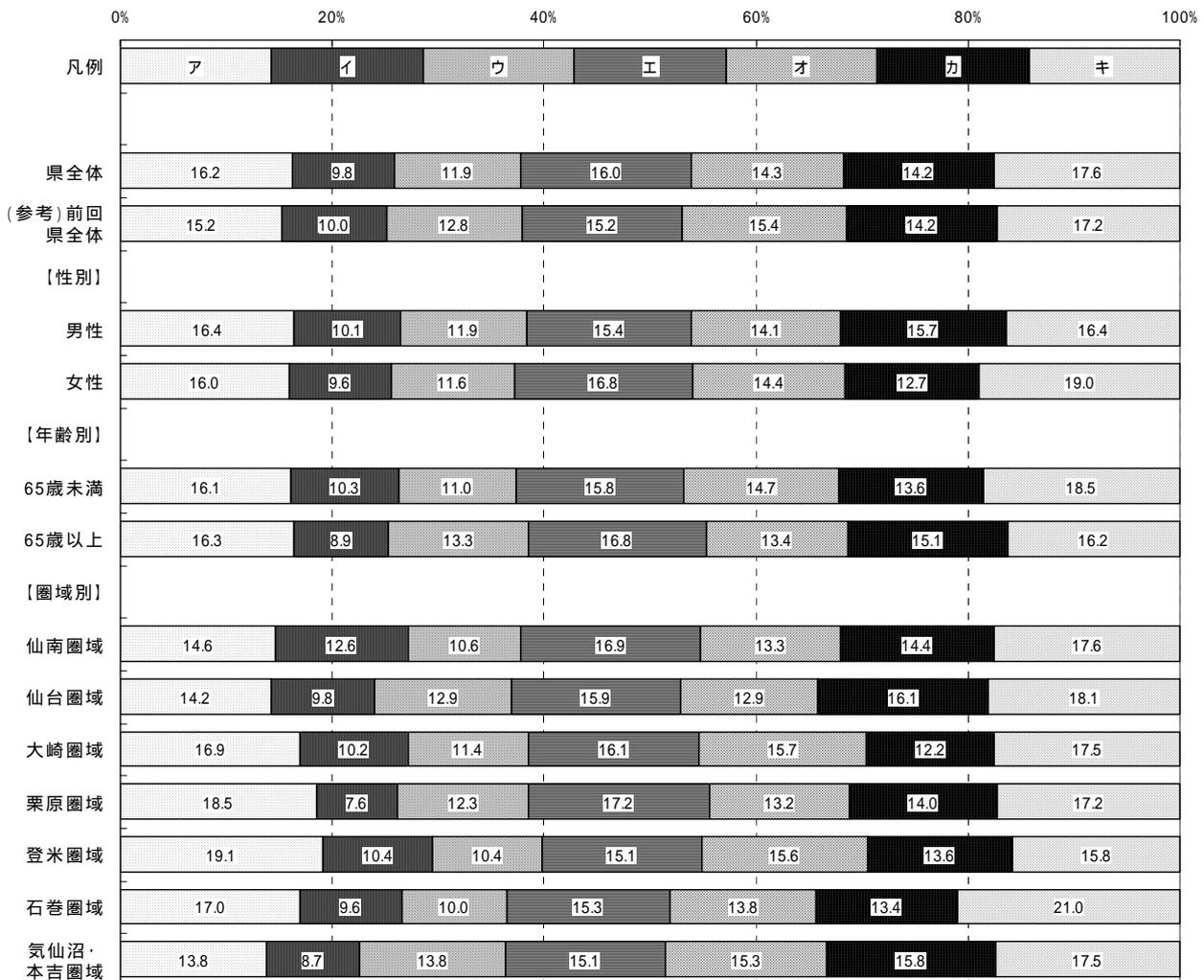


図2 - 2 - 29 - 6 取組2 9 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。



## 取組 3 0 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成



### 取組概要

道路や河川などの身近な社会資本について、住民と協働し、地域と一体になった整備と維持管理体制を構築するとともに、長期的視点に立った社会資本の整備を目指します。また、農山漁村が持つ豊かな自然環境の維持保全活動や、良好な景観づくりへの支援を行うなど、住民との協働による美しい地域づくりを目指します。

### 平成 2 0 年度の主な取組

中山間地の地域が協働して行う農業生産活動や環境保全活動、交流活動などを支援しています。

食料の安定的な生産や農村の豊かな自然環境の維持を目指しながら、農地や農業用水などを適正に管理する地域の協働活動を支援しています。

道路や河川等の清掃や緑化に自発的に取り組む個人・団体を、アドプトプログラム(市民と行政が協働で進めるまち美化活動)の実施団体として認定し、地元市町村等と連携しながら活動を支援しています。

[参考]アドプトプログラム認定団体数 242団体(平成20年12月末現在)

景観法や「新・宮城県景観形成指針」に基づき、市町村に景観形成支援を行うとともに、景観への県民意識を高めていくため、景観百選の選定・普及やシンポジウムを開催しています。

[参考]みやぎ・身近な景観百選(平成20年8月選定)

みやぎ景観ポータルサイト <http://www.pref.miyagi.jp/tosikei/keikan.htm>

【認知度】（県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか）

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は30.4%、  
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は69.5%である。

性別

男性の『高認知群』は35.6%で、県全体より5.2ポイント高い。

女性の『高認知群』は25.6%で、県全体より4.8ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は24.2%で、県全体より6.2ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は42.3%で、県全体より11.9ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『高認知群』は21.7%で、県全体より8.7ポイント低い。

石巻圏域の『高認知群』は22.9%で、県全体より7.5ポイント低い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-30-1 取組30 認知度割合(属性別)

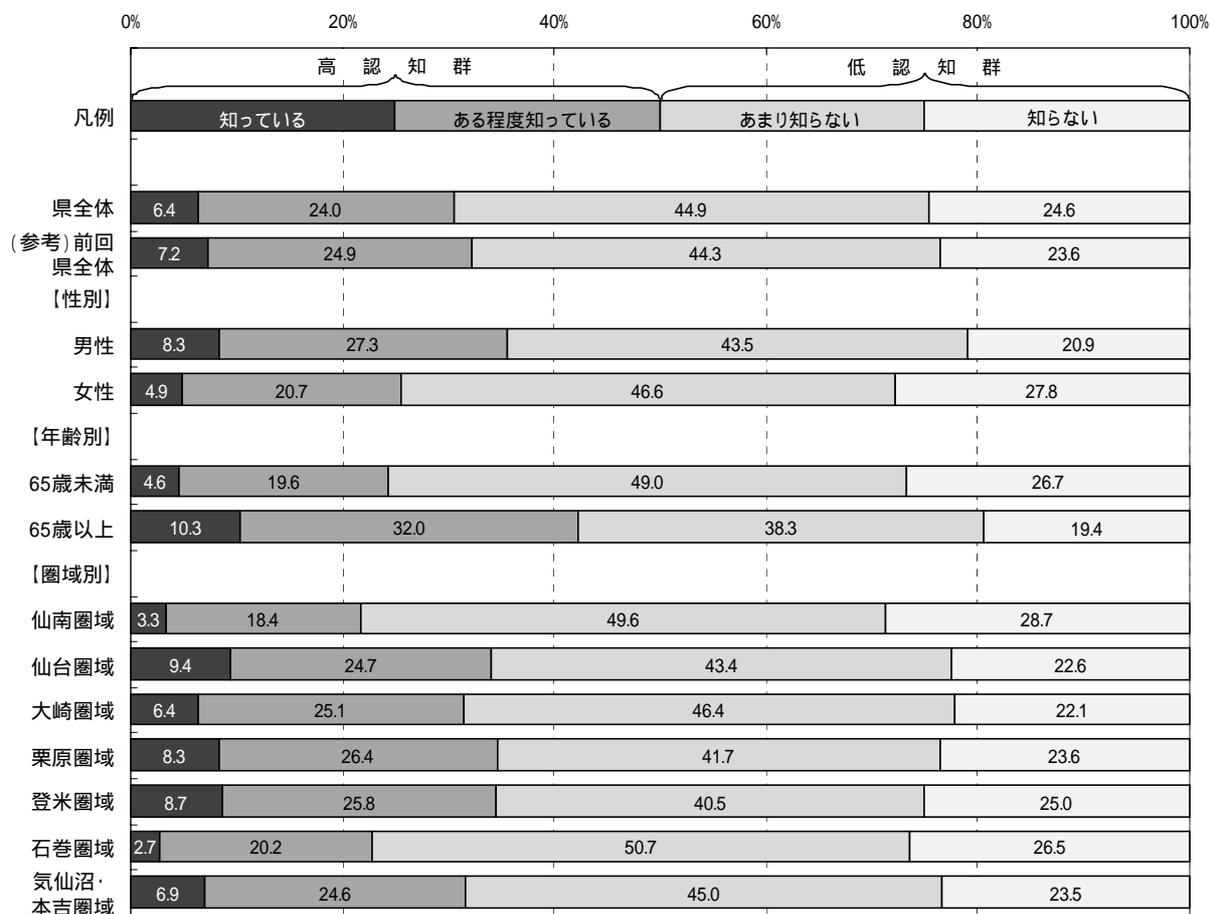


表2-2-30-1 取組30 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	118	440	823	450	1,831	113	1,944
	パーセント	6.4	24.0	44.9	24.6	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	128	441	783	417	1,769	73	1,842
	パーセント	7.2	24.9	44.3	23.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	71	233	372	179	855	39	894
	パーセント	8.3	27.3	43.5	20.9	100.0		
女性	度数	46	194	437	261	938	53	991
	パーセント	4.9	20.7	46.6	27.8	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	54	230	574	313	1,171	43	1,214
	パーセント	4.6	19.6	49.0	26.7	100.0		
65歳以上	度数	63	196	235	119	613	51	664
	パーセント	10.3	32.0	38.3	19.4	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	8	45	121	70	244	4	248
	パーセント	3.3	18.4	49.6	28.7	100.0		
仙台圏域	度数	22	58	102	53	235	14	249
	パーセント	9.4	24.7	43.4	22.6	100.0		
大崎圏域	度数	15	59	109	52	235	19	254
	パーセント	6.4	25.1	46.4	22.1	100.0		
栗原圏域	度数	24	76	120	68	288	17	305
	パーセント	8.3	26.4	41.7	23.6	100.0		
登米圏域	度数	23	68	107	66	264	15	279
	パーセント	8.7	25.8	40.5	25.0	100.0		
石巻圏域	度数	6	45	113	59	223	6	229
	パーセント	2.7	20.2	50.7	26.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	18	64	117	61	260	14	274
	パーセント	6.9	24.6	45.0	23.5	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は58.5%、  
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は41.6%である。

性別

男性の『高関心群』は63.7%で、県全体より5.2ポイント高い。

女性の『高関心群』は53.0%で、県全体より5.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は55.0%で、県全体より3.5ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は64.7%で、県全体より6.2ポイント高い。

圏域別

仙台圏域の『高関心群』は65.1%で、県全体より6.6ポイント高い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-30-2 取組30 関心度割合(属性別)

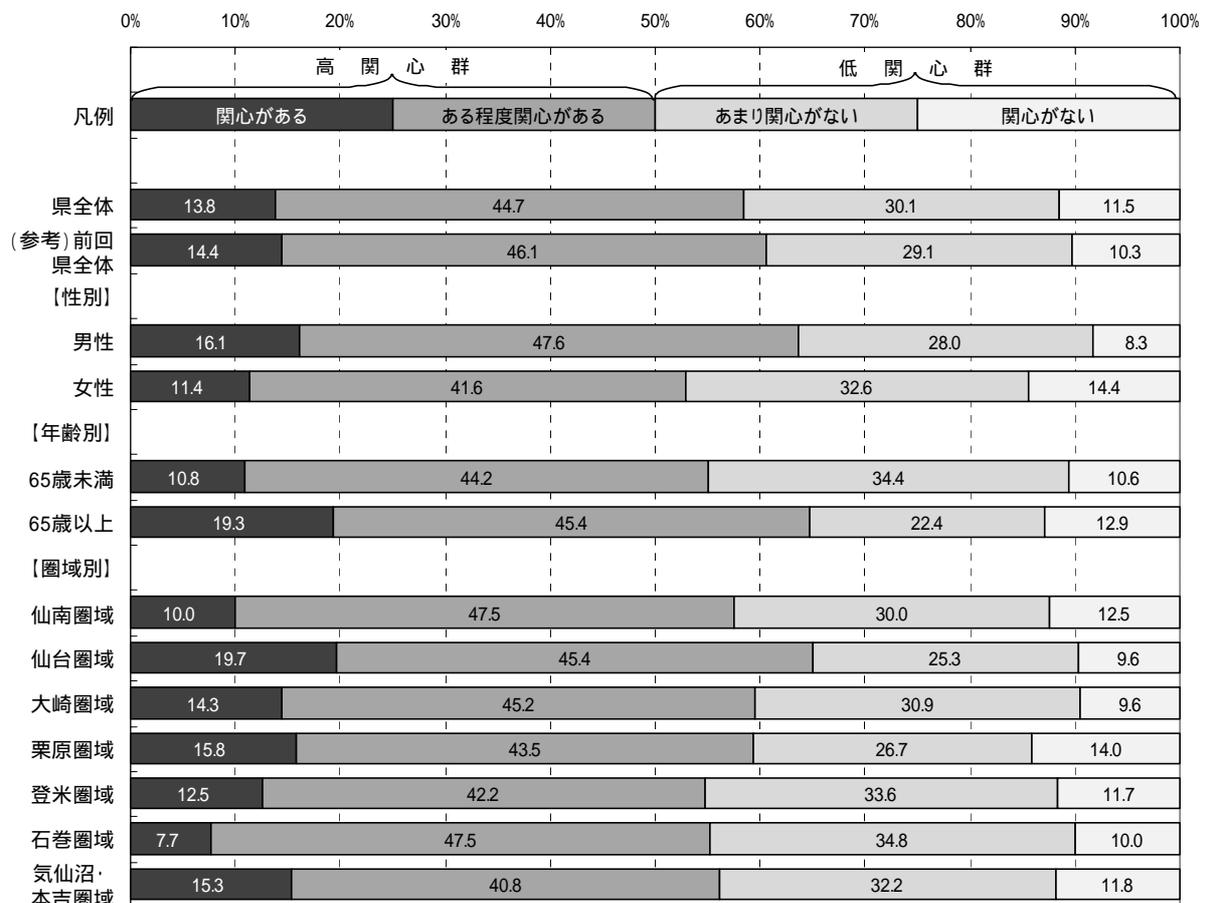


表2-2-30-2 取組30 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	247	802	540	207	1,796	148	1,944
	パーセント	13.8	44.7	30.1	11.5	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	247	790	499	177	1,713	129	1,842
	パーセント	14.4	46.1	29.1	10.3	100.0		
【性別】								
男性	度数	136	401	236	70	843	51	894
	パーセント	16.1	47.6	28.0	8.3	100.0		
女性	度数	104	381	299	132	916	75	991
	パーセント	11.4	41.6	32.6	14.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	125	511	397	122	1,155	59	1,214
	パーセント	10.8	44.2	34.4	10.6	100.0		
65歳以上	度数	115	270	133	77	595	69	664
	パーセント	19.3	45.4	22.4	12.9	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	24	114	72	30	240	8	248
	パーセント	10.0	47.5	30.0	12.5	100.0		
仙台圏域	度数	45	104	58	22	229	20	249
	パーセント	19.7	45.4	25.3	9.6	100.0		
大崎圏域	度数	33	104	71	22	230	24	254
	パーセント	14.3	45.2	30.9	9.6	100.0		
栗原圏域	度数	45	124	76	40	285	20	305
	パーセント	15.8	43.5	26.7	14.0	100.0		
登米圏域	度数	32	108	86	30	256	23	279
	パーセント	12.5	42.2	33.6	11.7	100.0		
石巻圏域	度数	17	105	77	22	221	8	229
	パーセント	7.7	47.5	34.8	10.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	39	104	82	30	255	19	274
	パーセント	15.3	40.8	32.2	11.8	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は60.4%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は17.1%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が78.0%、『低重視群』は22.1%となる。

性別

男性の『高重視群』は66.6%で、県全体より6.2ポイント高い。

女性の『高重視群』は55.0%で、県全体より5.4ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は58.5%で、県全体より1.9ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は64.9%で、県全体より4.5ポイント高い。

圏域別

仙台圏域の『高重視群』は65.8%で、県全体より5.4ポイント高い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-30-3 取組30 重視度割合(属性別)

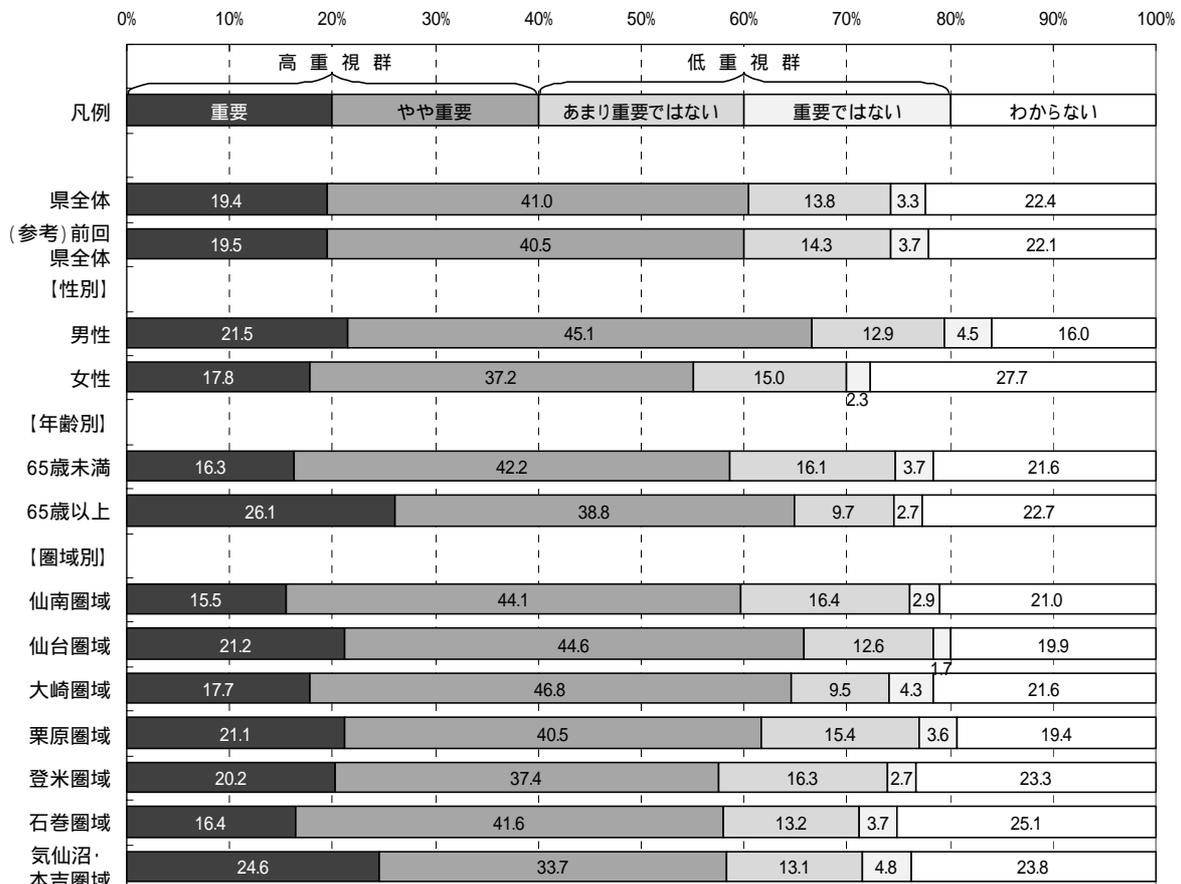


表2-2-30-3 取組30 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	347	732	247	59	400	1,785	159	1,944
	パーセント	19.4	41.0	13.8	3.3	22.4	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	25.1	52.9	17.8	4.3		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	336	699	246	64	381	1,726	116	1,842
	パーセント	19.5	40.5	14.3	3.7	22.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	180	378	108	38	134	838	56	894
	パーセント	21.5	45.1	12.9	4.5	16.0	100.0		
女性	度数	162	338	136	21	252	909	82	991
	パーセント	17.8	37.2	15.0	2.3	27.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	187	485	185	43	248	1,148	66	1,214
	パーセント	16.3	42.2	16.1	3.7	21.6	100.0		
65歳以上	度数	154	229	57	16	134	590	74	664
	パーセント	26.1	38.8	9.7	2.7	22.7	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	37	105	39	7	50	238	10	248
	パーセント	15.5	44.1	16.4	2.9	21.0	100.0		
仙台圏域	度数	49	103	29	4	46	231	18	249
	パーセント	21.2	44.6	12.6	1.7	19.9	100.0		
大崎圏域	度数	41	108	22	10	50	231	23	254
	パーセント	17.7	46.8	9.5	4.3	21.6	100.0		
栗原圏域	度数	59	113	43	10	54	279	26	305
	パーセント	21.1	40.5	15.4	3.6	19.4	100.0		
登米圏域	度数	52	96	42	7	60	257	22	279
	パーセント	20.2	37.4	16.3	2.7	23.3	100.0		
石巻圏域	度数	36	91	29	8	55	219	10	229
	パーセント	16.4	41.6	13.2	3.7	25.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	62	85	33	12	60	252	22	274
	パーセント	24.6	33.7	13.1	4.8	23.8	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は31.7%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は24.6%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が56.3%、『不満群』は43.7%となる。

性別

男性の『満足群』は33.6%で、県全体より1.9ポイント高い。

女性の『満足群』は30.2%で、県全体より1.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は27.9%で、県全体より3.8ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は40.2%で、県全体より8.5ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-30-4 取組30 満足度割合(属性別)

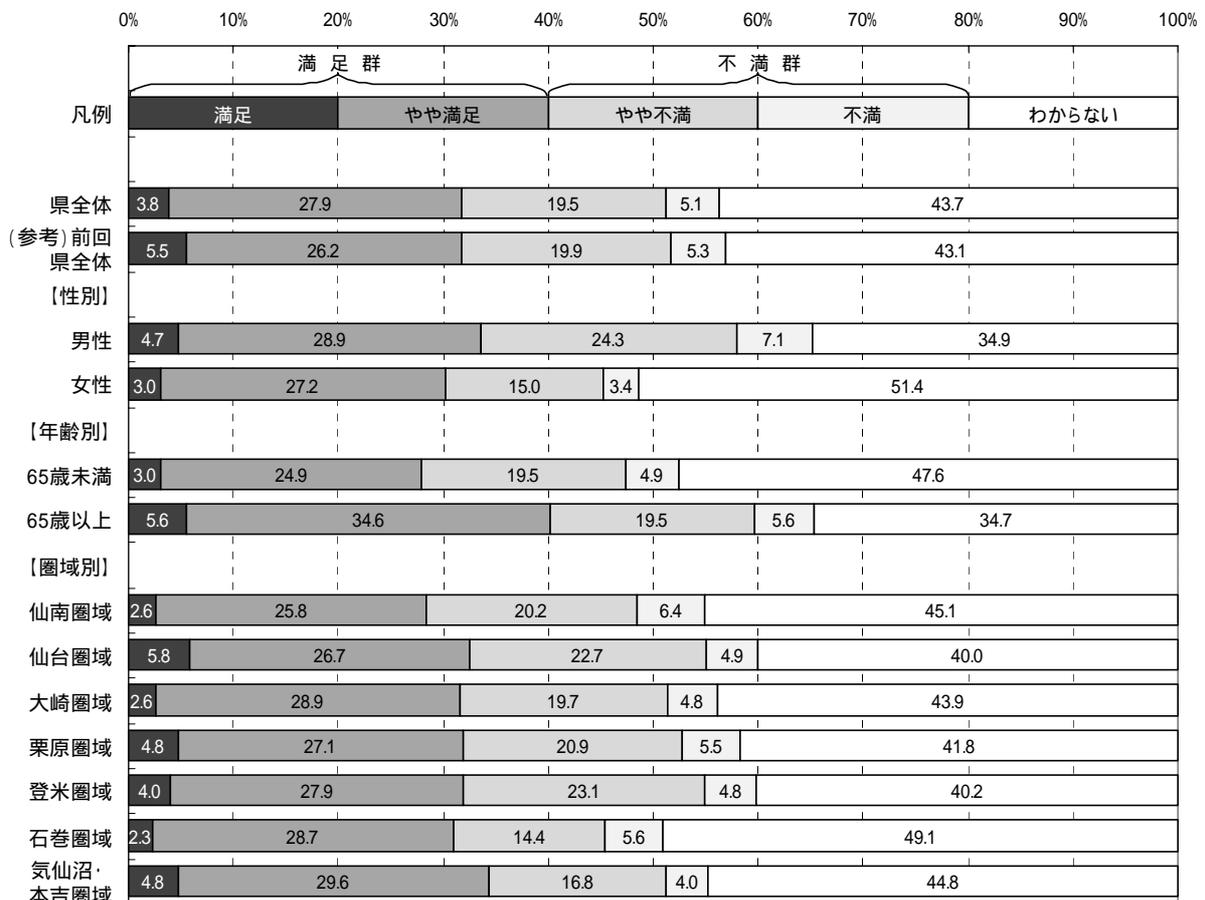


表2-2-30-4 取組30 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	67	488	341	90	764	1,750	194	1,944
	パーセント	3.8	27.9	19.5	5.1	43.7	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	6.8	49.5	34.6	9.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	93	444	337	90	729	1,693	149	1,842
	パーセント	5.5	26.2	19.9	5.3	43.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	39	239	201	59	288	826	68	894
	パーセント	4.7	28.9	24.3	7.1	34.9	100.0		
女性	度数	27	242	133	30	457	889	102	991
	パーセント	3.0	27.2	15.0	3.4	51.4	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	34	282	221	56	539	1,132	82	1,214
	パーセント	3.0	24.9	19.5	4.9	47.6	100.0		
65歳以上	度数	32	198	112	32	199	573	91	664
	パーセント	5.6	34.6	19.5	5.6	34.7	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	6	60	47	15	105	233	15	248
	パーセント	2.6	25.8	20.2	6.4	45.1	100.0		
仙台圏域	度数	13	60	51	11	90	225	24	249
	パーセント	5.8	26.7	22.7	4.9	40.0	100.0		
大崎圏域	度数	6	66	45	11	100	228	26	254
	パーセント	2.6	28.9	19.7	4.8	43.9	100.0		
栗原圏域	度数	13	74	57	15	114	273	32	305
	パーセント	4.8	27.1	20.9	5.5	41.8	100.0		
登米圏域	度数	10	70	58	12	101	251	28	279
	パーセント	4.0	27.9	23.1	4.8	40.2	100.0		
石巻圏域	度数	5	62	31	12	106	216	13	229
	パーセント	2.3	28.7	14.4	5.6	49.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	12	74	42	10	112	250	24	274
	パーセント	4.8	29.6	16.8	4.0	44.8	100.0		

## 【特に優先すべきと思う項目】

取組30に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 長期的な視点に立った社会資本の新設・保全・更新の仕組みづくり
- イ 社会資本の整備計画づくりや完成後の管理に住民意見を取り入れるための体制づくり
- ウ みやぎスマイルロードプログラムなど、道路や河川清掃などへの住民や企業の参画促進
- エ 地域が協働して行う農地や農業用水などの地域資源の保全活動や、農山漁村の持つ魅力を生かした都市住民との交流や定住の促進
- オ 全県的な景観形成の方向性の提示と市町村の景観形成への支援
- カ 景観に配慮した公共施設づくりと、規制などによる良好な景観づくりへの誘導
- キ みやぎの良好な景観の選定など、良好な景観づくりのための普及啓発

(参考:目標とする宮城の姿)

今ある施設は有効に活用し、新たな施設は長く使えるものを造るなど、将来にも引き継いでいける社会資本が整備されています。

身近な道路や河川の整備、管理などを、行政、住民、企業が連携・協働しながら進めています。農地や森林が守られ、農山漁村の持つ魅力が認められることで、都市住民との交流が活発になり、定住する人が増えています。

それぞれの地域が持つ自然、歴史、文化などの資源を生かした、良好な景観づくりが進んでいます。

### < 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	エ(エ)	エ	エ	エ	エ
第2位:	キ(ア)	ア	キ	ア	キ
第3位:	ア(キ)	ウ	カ	キ	ウ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ
第2位:	カ	ウ	ア	ア	キ	カ	ア
第3位:	ア	キ	キ	オ	ア	キ	イ, 持

イ, 持同率

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

( )内は、前回の優先順位

取組30「住民参画型の社会資本整備や  
良好な景観の形成」

図2-2-30-5 取組30 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

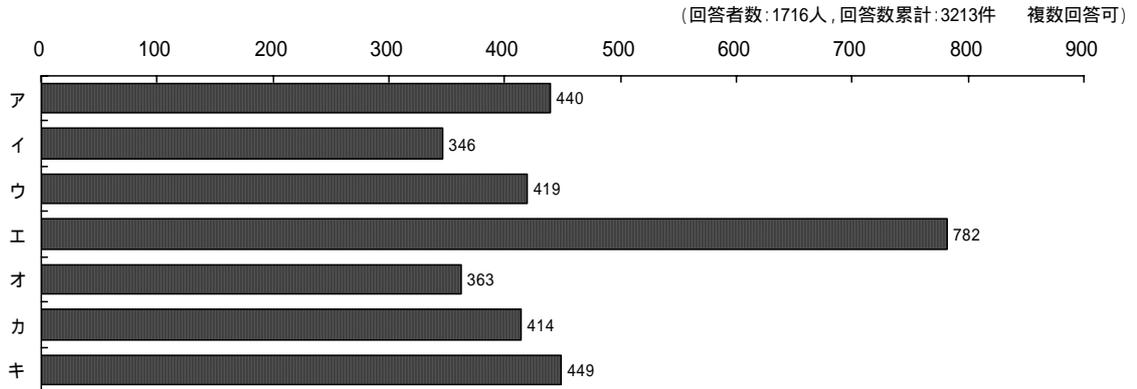
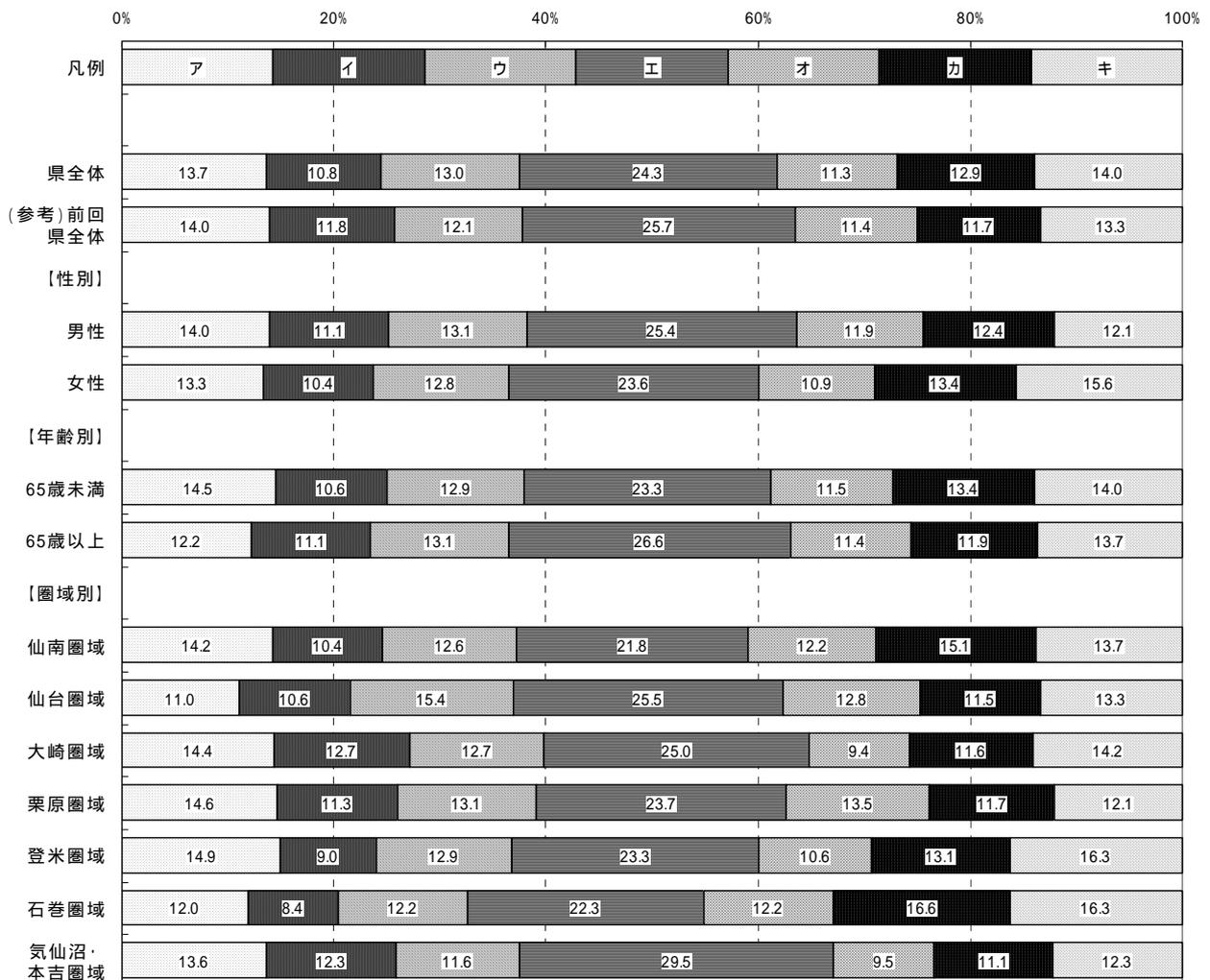


図2-2-30-6 取組30 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 3 0 「住民参画型の社会資本整備や  
良好な景観の形成」

### 取組 3 1 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実



#### 取組概要

宮城県沖地震に備え、各種施設の耐震化や津波・高潮対策等に取り組むとともに、観測体制を強化し、各情報を迅速かつ的確に伝達するネットワーク化を目指します。

#### 平成 2 0 年度の主な取組

防災関係機関の迅速な初動体制を確立するため、各機関の津波観測情報の共有化(津波情報ネットワーク構築)に向けた取組を実施しています。

津波発生時の人命防護のため、情報表示板などの津波避難施設の整備や防潮水門等の遠隔操作化を実施しています。

昭和 56 年 5 月以前に建築された木造戸建て住宅の耐震化を促進するため、耐震診断費用・耐震改修費用の助成及び耐震化に関する相談会の開催や相談所の設置を行っています。

宮城県沖地震に備え、現行の耐震化基準(阪神淡路大震災後に改定)に適合していない水管橋の耐震補強設計・工事を進めています。

地震災害発生時に、負傷者の搬送や緊急物資の輸送路を確保できるよう、防災拠点間を結ぶ緊急輸送道路に当たる橋の耐震化を進めています。

**【認知度】** (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は69.3%、  
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は30.6%である。

性別

男性の『高認知群』は74.0%で、県全体より4.7ポイント高い。

女性の『高認知群』は65.3%で、県全体より4.0ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は67.9%で、県全体より1.4ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は73.2%で、県全体より3.9ポイント高い。

圏域別

気仙沼・本吉圏域の『高認知群』は77.3%で、県全体より8.0ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 31 - 1 取組 31 認知度割合(属性別)

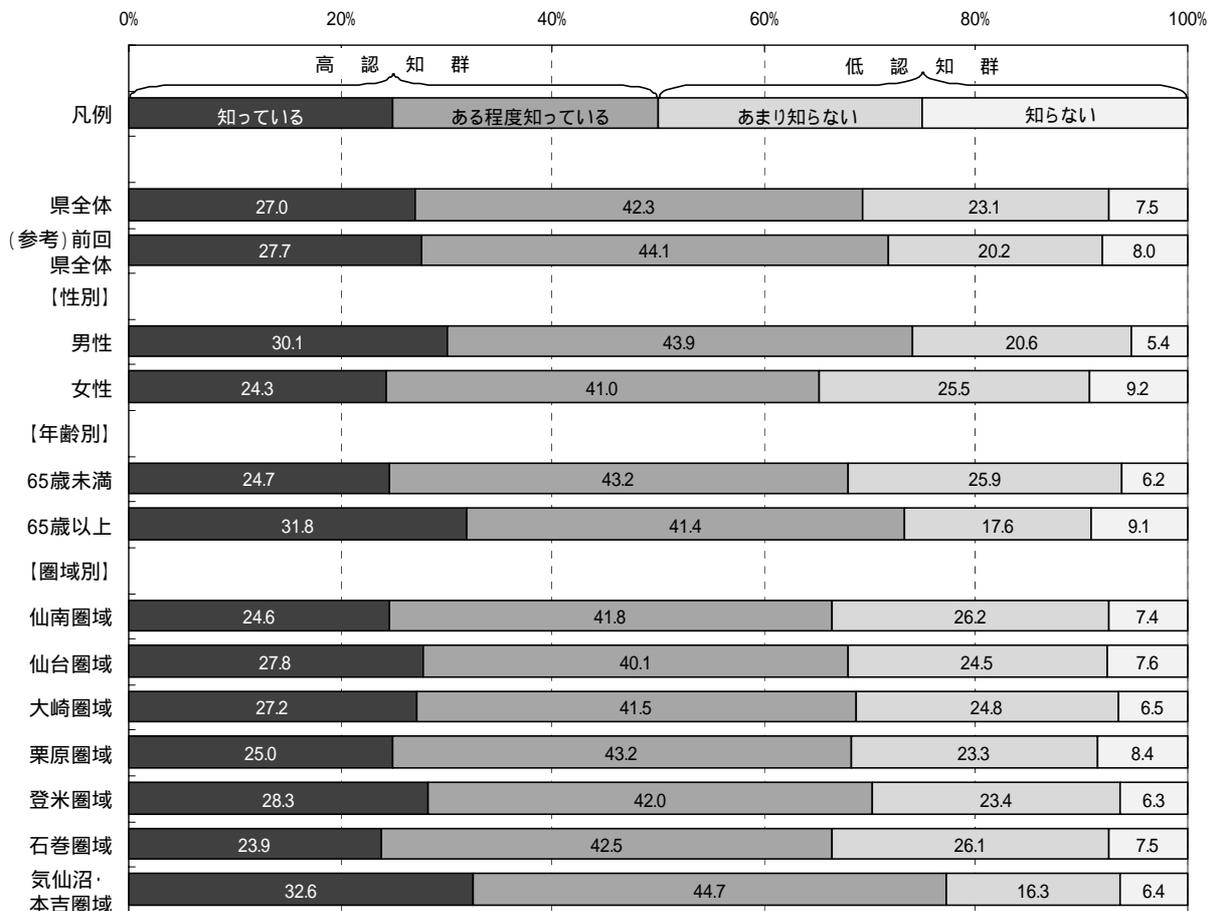


表 2 - 2 - 3 1 - 1 取組 3 1 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	505	790	432	140	1,867	77	1,944
	パーセント	27.0	42.3	23.1	7.5	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	485	774	355	140	1,754	88	1,842
	パーセント	27.7	44.1	20.2	8.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	263	384	180	47	874	20	894
	パーセント	30.1	43.9	20.6	5.4	100.0		
女性	度数	231	390	243	88	952	39	991
	パーセント	24.3	41.0	25.5	9.2	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	294	515	309	74	1,192	22	1,214
	パーセント	24.7	43.2	25.9	6.2	100.0		
65歳以上	度数	199	259	110	57	625	39	664
	パーセント	31.8	41.4	17.6	9.1	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	60	102	64	18	244	4	248
	パーセント	24.6	41.8	26.2	7.4	100.0		
仙台圏域	度数	66	95	58	18	237	12	249
	パーセント	27.8	40.1	24.5	7.6	100.0		
大崎圏域	度数	67	102	61	16	246	8	254
	パーセント	27.2	41.5	24.8	6.5	100.0		
栗原圏域	度数	74	128	69	25	296	9	305
	パーセント	25.0	43.2	23.3	8.4	100.0		
登米圏域	度数	76	113	63	17	269	10	279
	パーセント	28.3	42.0	23.4	6.3	100.0		
石巻圏域	度数	54	96	59	17	226	3	229
	パーセント	23.9	42.5	26.1	7.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	86	118	43	17	264	10	274
	パーセント	32.6	44.7	16.3	6.4	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は91.3%、  
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は8.8%である。

性別

男性の『高関心群』は92.1%で、県全体より0.8ポイント高い。

女性の『高関心群』は90.8%で、県全体より0.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は94.0%で、県全体より2.7ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は87.3%で、県全体より4.0ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2 - 2 - 31 - 2 取組31 関心度割合(属性別)

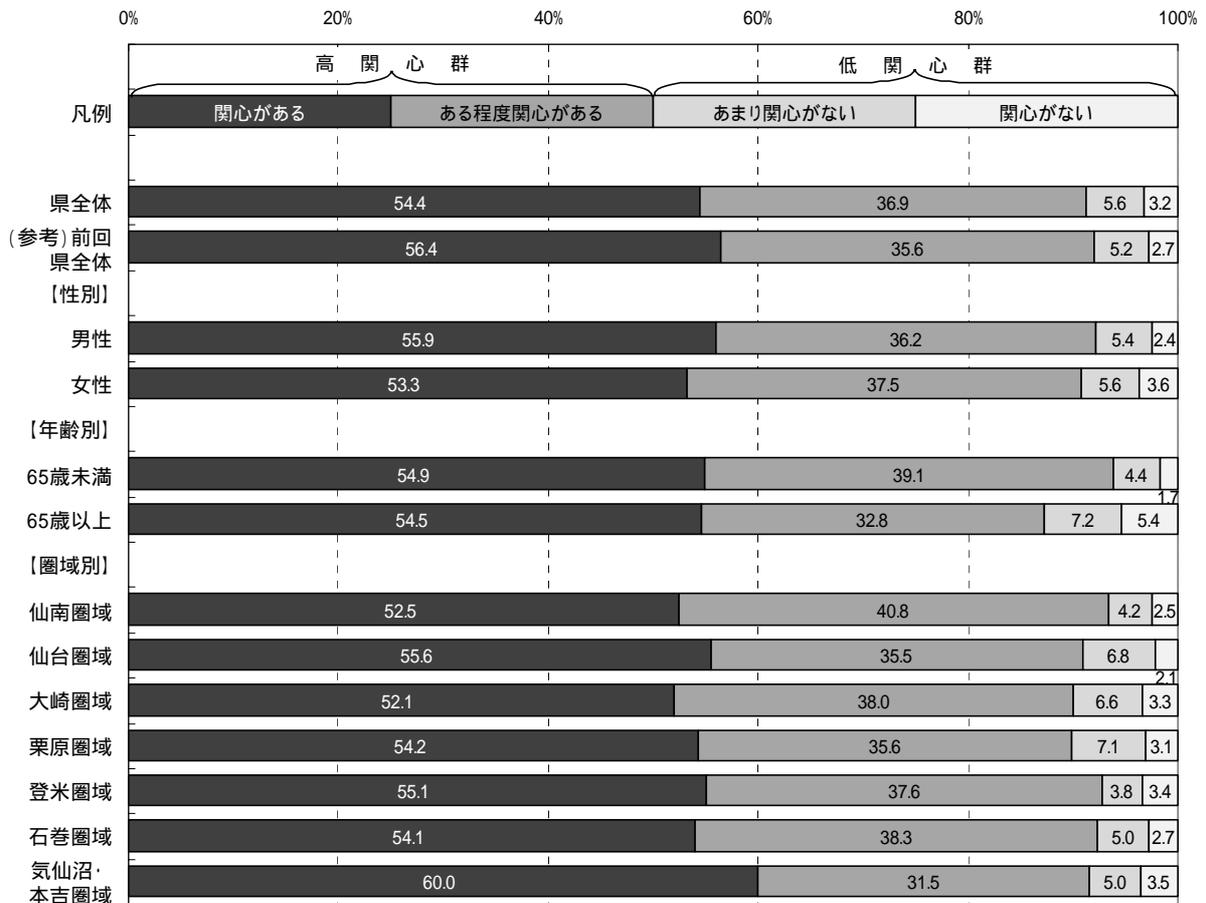


表 2 - 2 - 3 1 - 2 取組 3 1 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	1,000	677	102	58	1,837	107	1,944
	パーセント	54.4	36.9	5.6	3.2	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	967	611	90	47	1,715	127	1,842
	パーセント	56.4	35.6	5.2	2.7	100.0		
【性別】								
男性	度数	480	311	46	21	858	36	894
	パーセント	55.9	36.2	5.4	2.4	100.0		
女性	度数	502	353	53	34	942	49	991
	パーセント	53.3	37.5	5.6	3.6	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	649	462	52	20	1,183	31	1,214
	パーセント	54.9	39.1	4.4	1.7	100.0		
65歳以上	度数	331	199	44	33	607	57	664
	パーセント	54.5	32.8	7.2	5.4	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	126	98	10	6	240	8	248
	パーセント	52.5	40.8	4.2	2.5	100.0		
仙台圏域	度数	130	83	16	5	234	15	249
	パーセント	55.6	35.5	6.8	2.1	100.0		
大崎圏域	度数	126	92	16	8	242	12	254
	パーセント	52.1	38.0	6.6	3.3	100.0		
栗原圏域	度数	160	105	21	9	295	10	305
	パーセント	54.2	35.6	7.1	3.1	100.0		
登米圏域	度数	145	99	10	9	263	16	279
	パーセント	55.1	37.6	3.8	3.4	100.0		
石巻圏域	度数	120	85	11	6	222	7	229
	パーセント	54.1	38.3	5.0	2.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	156	82	13	9	260	14	274
	パーセント	60.0	31.5	5.0	3.5	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は91.5%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は2.5%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が97.3%、『低重視群』は2.6%となる。

性別

男性の『高重視群』は92.6%で、県全体より1.1ポイント高い。

女性の『高重視群』は90.8%で、県全体より0.7ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は93.5%で、県全体より2.0ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は88.7%で、県全体より2.8ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-31-3 取組31 重視度割合(属性別)

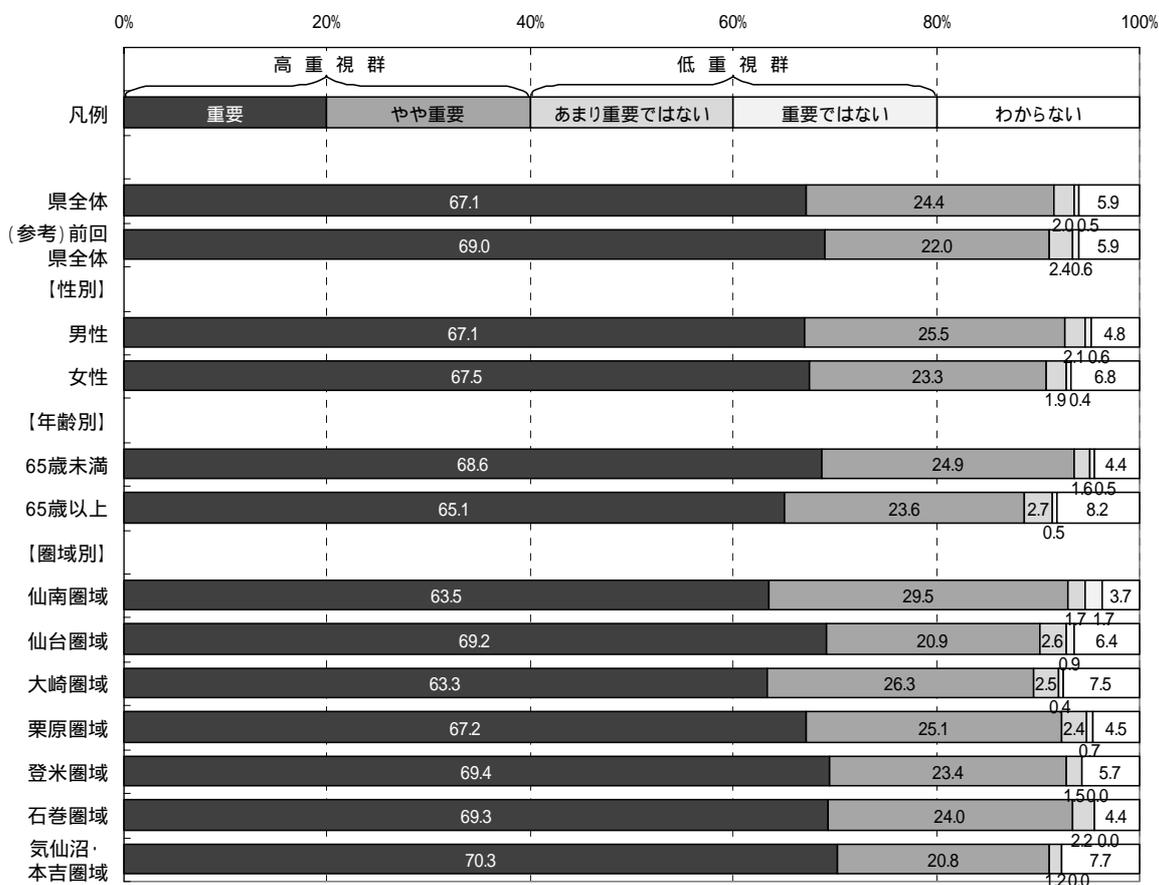


表2-2-31-3 取組31 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	1,230	448	37	9	109	1,833	111	1,944
	パーセント	67.1	24.4	2.0	0.5	5.9	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	71.3	26.0	2.1	0.5		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	1,201	383	42	11	103	1,740	102	1,842
	パーセント	69.0	22.0	2.4	0.6	5.9	100.0		
【性別】									
男性	度数	579	220	18	5	41	863	31	894
	パーセント	67.1	25.5	2.1	0.6	4.8	100.0		
女性	度数	628	217	18	4	63	930	61	991
	パーセント	67.5	23.3	1.9	0.4	6.8	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	812	294	19	6	52	1,183	31	1,214
	パーセント	68.6	24.9	1.6	0.5	4.4	100.0		
65歳以上	度数	391	142	16	3	49	601	63	664
	パーセント	65.1	23.6	2.7	0.5	8.2	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	153	71	4	4	9	241	7	248
	パーセント	63.5	29.5	1.7	1.7	3.7	100.0		
仙台圏域	度数	162	49	6	2	15	234	15	249
	パーセント	69.2	20.9	2.6	0.9	6.4	100.0		
大崎圏域	度数	152	63	6	1	18	240	14	254
	パーセント	63.3	26.3	2.5	0.4	7.5	100.0		
栗原圏域	度数	193	72	7	2	13	287	18	305
	パーセント	67.2	25.1	2.4	0.7	4.5	100.0		
登米圏域	度数	184	62	4	0	15	265	14	279
	パーセント	69.4	23.4	1.5	0.0	5.7	100.0		
石巻圏域	度数	156	54	5	0	10	225	4	229
	パーセント	69.3	24.0	2.2	0.0	4.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	182	54	3	0	20	259	15	274
	パーセント	70.3	20.8	1.2	0.0	7.7	100.0		

**【満足度】** (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は49.6%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は30.0%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が62.3%、『不満群』は37.7%となる。

性別

男性の『満足群』は50.4%で、県全体より0.8ポイント高い。

女性の『満足群』は49.0%で、県全体より0.6ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は46.5%で、県全体より3.1ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は56.5%で、県全体より6.9ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-31-4 取組31 満足度割合(属性別)

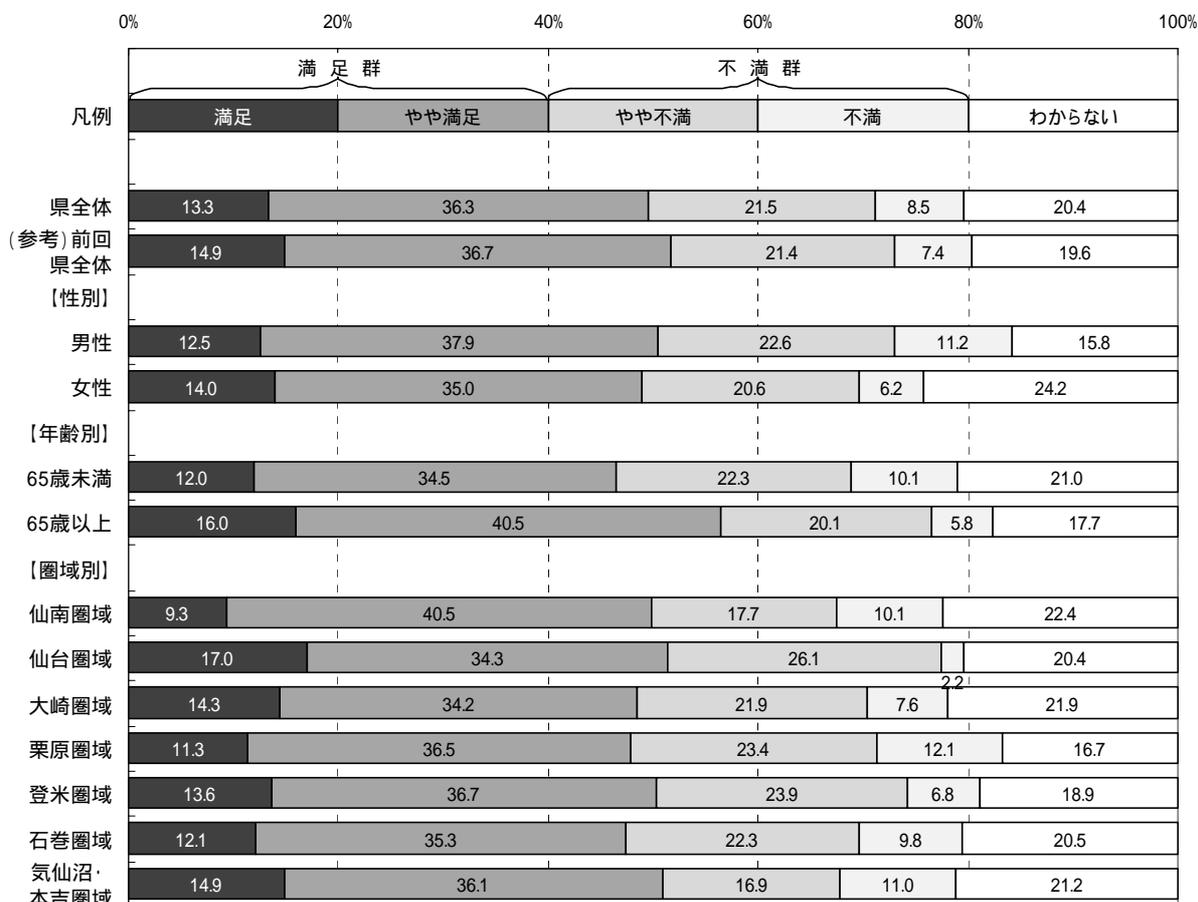


表2-2-31-4 取組31 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	241	657	390	154	369	1,811	133	1,944
	パーセント	13.3	36.3	21.5	8.5	20.4	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	16.7	45.6	27.0	10.7		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	254	625	364	126	334	1,703	139	1,842
	パーセント	14.9	36.7	21.4	7.4	19.6	100.0		
【性別】									
男性	度数	107	324	193	96	135	855	39	894
	パーセント	12.5	37.9	22.6	11.2	15.8	100.0		
女性	度数	128	321	189	57	222	917	74	991
	パーセント	14.0	35.0	20.6	6.2	24.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	141	405	262	119	247	1,174	40	1,214
	パーセント	12.0	34.5	22.3	10.1	21.0	100.0		
65歳以上	度数	94	238	118	34	104	588	76	664
	パーセント	16.0	40.5	20.1	5.8	17.7	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	22	96	42	24	53	237	11	248
	パーセント	9.3	40.5	17.7	10.1	22.4	100.0		
仙台圏域	度数	39	79	60	5	47	230	19	249
	パーセント	17.0	34.3	26.1	2.2	20.4	100.0		
大崎圏域	度数	34	81	52	18	52	237	17	254
	パーセント	14.3	34.2	21.9	7.6	21.9	100.0		
栗原圏域	度数	32	103	66	34	47	282	23	305
	パーセント	11.3	36.5	23.4	12.1	16.7	100.0		
登米圏域	度数	36	97	63	18	50	264	15	279
	パーセント	13.6	36.7	23.9	6.8	18.9	100.0		
石巻圏域	度数	27	79	50	22	46	224	5	229
	パーセント	12.1	35.3	22.3	9.8	20.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	38	92	43	28	54	255	19	274
	パーセント	14.9	36.1	16.9	11.0	21.2	100.0		

### 【特に優先すべきと思う項目】

取組 3 1 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 緊急輸送道路に当たる橋、物資輸送のための岸壁、防災拠点施設となる公共建築物の耐震化の促進や防災公園の整備
- イ 電気、ガス、上下水道などの耐震化と、それぞれの管理者との連携強化による震災時の早期復旧体制づくり
- ウ 住宅等の耐震化の促進
- エ 津波被害を防ぐ水門等の施設整備と、市町村や地域と連携した維持管理の充実
- オ 広報・避難誘導態勢の整備や、住民の防災意識の向上を図る津波に備えたまちづくりなどのソフト対策の促進
- カ GPS 波浪計の津波観測や地震計の地震観測など、観測体制の充実
- キ 宮城県総合防災情報システムなどの情報ネットワークの充実
- ク 国、市町村、大学、研究機関が連携して行う地震・津波の調査研究と先端科学技術活用の促進

(参考：目標とする宮城の姿)

主な防災拠点施設が耐震化されています。また、震災時にも、電気、ガス、上下水道など生活に欠かせない機能が確保されています。  
 県民や企業の耐震化への取組が進み、震災時の家屋倒壊等による被害が減少しています。  
 沿岸居住者や海岸利用者を守るためのさまざまな津波対策が進んでいます。  
 震度情報や津波観測情報などが県民にスムーズに伝わり、震災時には速やかな避難・救助が行われることで、人的被害が最小限となっています。  
 地震・津波の調査研究と先端科学技術の活用が進み、地震防災力が向上しています。

#### < 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	イ(イ)	イ	イ	イ	イ
第2位:	ア(ア)	ア	ア	ア	ア
第3位:	ウ(キ)	ウ	ウ	ウ	ウ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
第2位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
第3位:	ウ	ウ	ウ	キ	キ	エ	エ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。  
 ( ) 内は、前回の優先順位

図2-2-31-5 取組31 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

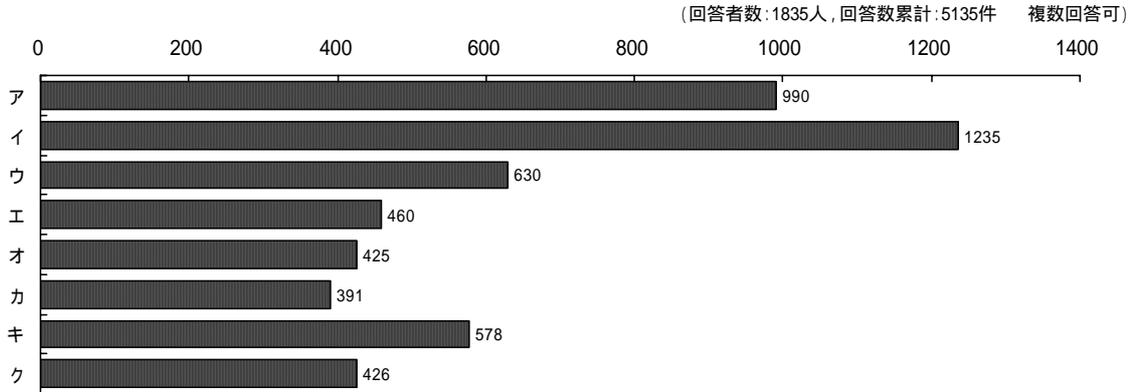
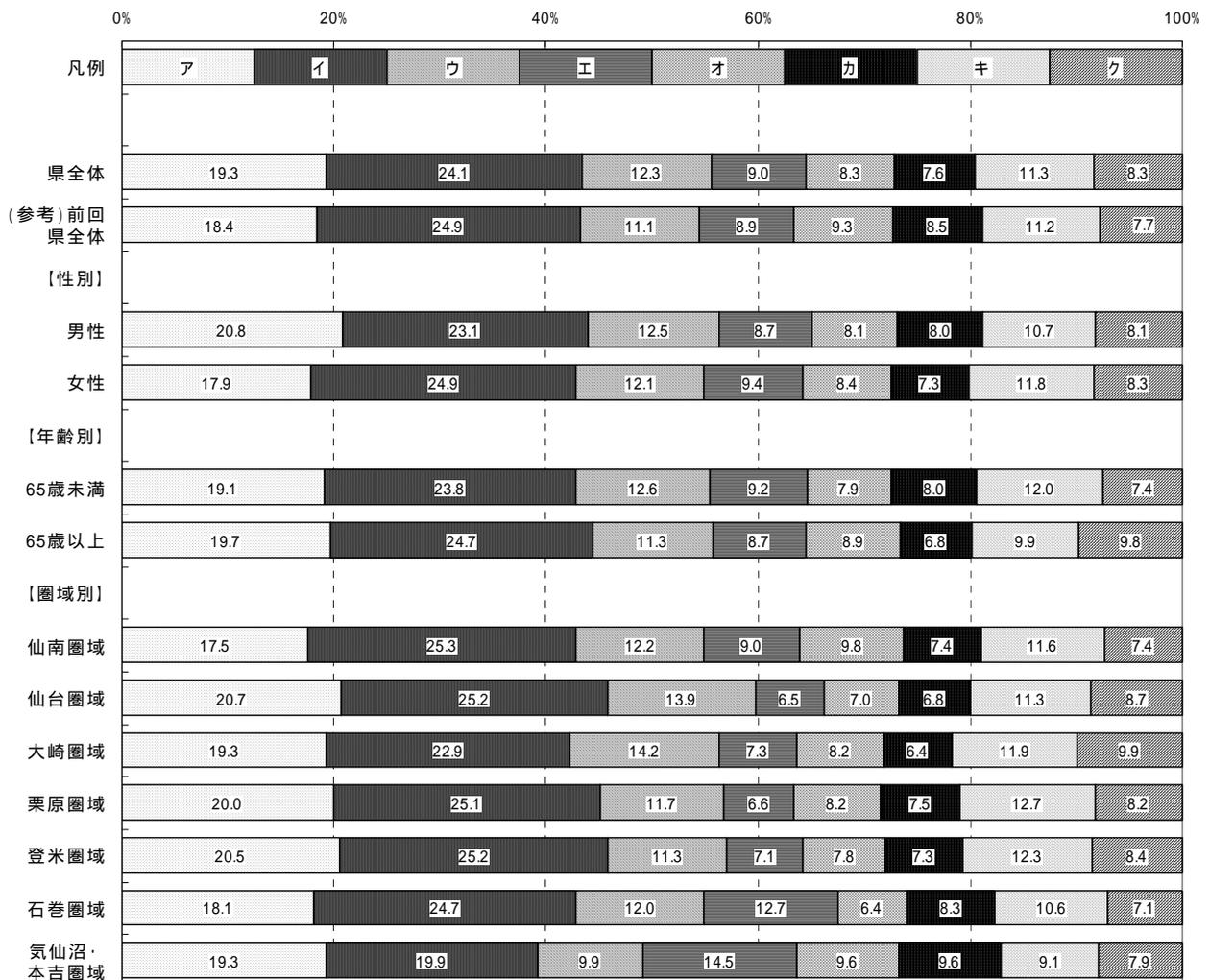


図2-2-31-6 取組31 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 3 1 「宮城県沖地震に備えた施設整備  
や情報ネットワークの充実」

## 取組 3 2 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進



### 取組概要

洪水被害や土石流、地滑り、がけ崩れなどの土砂災害・山地災害を防ぐため、危険度・優先度の高い箇所を明確にして、計画的かつ効果的な施設整備を目指します。また、洪水や土砂災害に関する防災情報を、より迅速かつ的確に県民へ提供するなどのソフト対策の推進を目指します。

### 平成 2 0 年度の主な取組

荒廃した渓流や崩壊地に治山ダムや土留などを設置して山地災害を防ぐとともに、保安林の間伐などの手入れを行っています。

近年多発するゲリラ的豪雨から県民の安全と安心を守るため、「見える川づくり(10か年計画)」を作成し、優先度や整備効果を明確にして計画的に河川改修等を進めています。

[参考] 川内沢川放水路 (平成 24 年度完成予定)

インターネットや携帯電話による雨量や河川水位などの情報提供を行っています。また、洪水予報河川の指定や洪水ハザードマップを作成する市町村への支援などのソフト対策を推進しています。

[参考] 宮城県土木部総合情報システム (雨量, 河川水位, 土砂災害発生危険度などの防災情報を提供)

パソコンから <http://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/>

携帯電話から <http://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/tel/>

土砂災害に関する情報や土砂災害防止法についてわかりやすく説明する「押し掛け出前講座」を県内各地で開催するとともに、土砂災害警戒区域等の指定を進めています。

[参考] 平成 20 年度に指定予定の土砂災害警戒区域等の数: 110 か所

土砂災害の犠牲になりやすい高齢者や乳幼児などに関連した施設や、住民が安全に避難するための避難所・避難路を対象とした防災工事を重点的に進めています。

[参考] 平成 20 年度に実施中の砂防事業・地すべり対策事業・

急傾斜地崩壊対策事業の実施箇所数: 44 か所

平成 20 年岩手・宮城内陸地震による崩壊・地滑りで大量に発生した土砂など、不安定で危険な状態にある土砂の流出対策等を進めています。

**【認知度】** (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は52.9%、  
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は47.2%である。  
また、前回の『高認知群』は45.1%で、今回は前回より7.8ポイント高い。

性別

男性の『高認知群』は59.6%で、県全体より6.7ポイント高い。

女性の『高認知群』は47.2%で、県全体より5.7ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は47.1%で、県全体より5.8ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は65.0%で、県全体より12.1ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『高認知群』は37.1%で、県全体より15.8ポイント低い。

栗原圏域の『高認知群』は61.1%で、県全体より8.2ポイント高い。

登米圏域の『高認知群』は60.2%で、県全体より7.3ポイント高い。

石巻圏域の『高認知群』は45.8%で、県全体より7.1ポイント低い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 3 2 - 1 取組 3 2 認知度割合 (属性別)

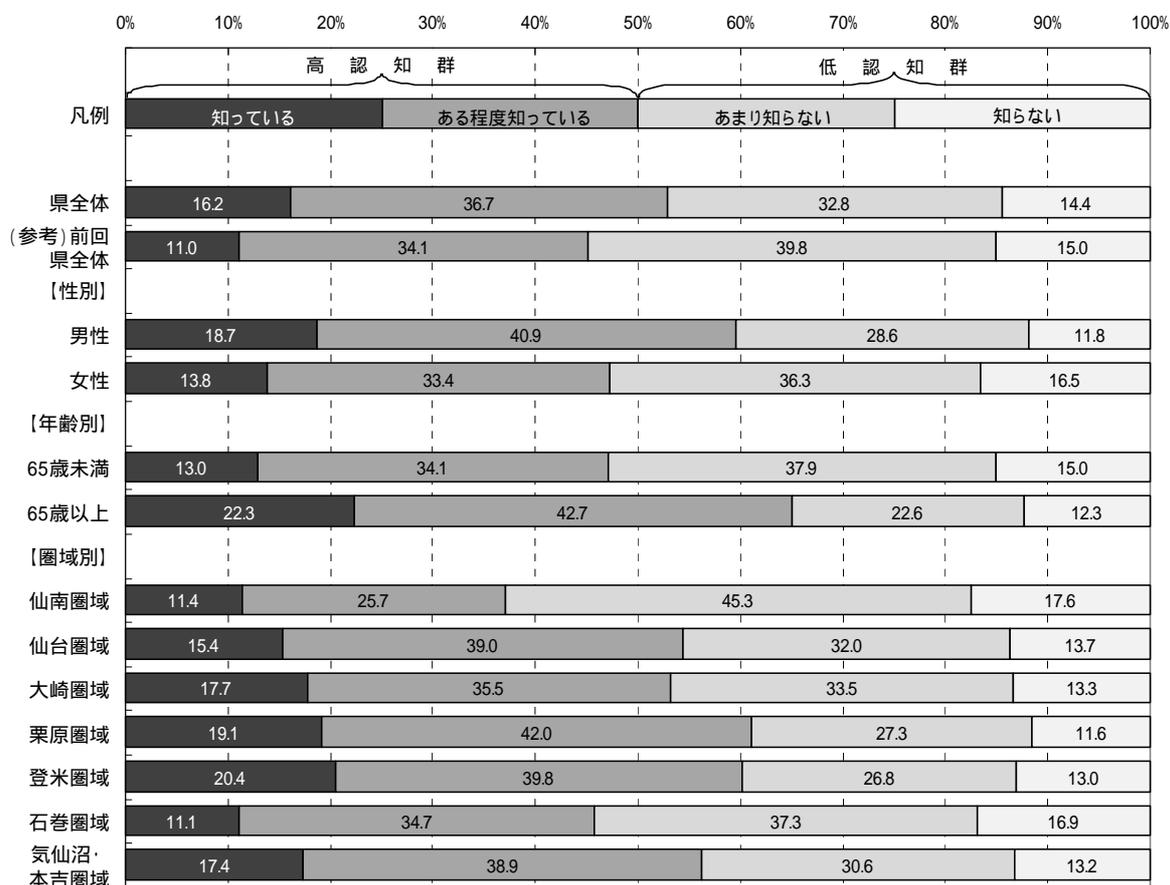


表 2 - 2 - 3 2 - 1 取組 3 2 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	303	687	614	269	1,873	71	1,944
	パーセント	16.2	36.7	32.8	14.4	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	194	600	700	264	1,758	84	1,842
	パーセント	11.0	34.1	39.8	15.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	164	359	251	104	878	16	894
	パーセント	18.7	40.9	28.6	11.8	100.0		
女性	度数	131	318	345	157	951	40	991
	パーセント	13.8	33.4	36.3	16.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	155	407	453	179	1,194	20	1,214
	パーセント	13.0	34.1	37.9	15.0	100.0		
65歳以上	度数	140	268	142	77	627	37	664
	パーセント	22.3	42.7	22.6	12.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	28	63	111	43	245	3	248
	パーセント	11.4	25.7	45.3	17.6	100.0		
仙台圏域	度数	37	94	77	33	241	8	249
	パーセント	15.4	39.0	32.0	13.7	100.0		
大崎圏域	度数	44	88	83	33	248	6	254
	パーセント	17.7	35.5	33.5	13.3	100.0		
栗原圏域	度数	56	123	80	34	293	12	305
	パーセント	19.1	42.0	27.3	11.6	100.0		
登米圏域	度数	55	107	72	35	269	10	279
	パーセント	20.4	39.8	26.8	13.0	100.0		
石巻圏域	度数	25	78	84	38	225	4	229
	パーセント	11.1	34.7	37.3	16.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	46	103	81	35	265	9	274
	パーセント	17.4	38.9	30.6	13.2	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は85.0%、  
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は15.1%である。

性別

男性の『高関心群』は87.4%で、県全体より2.4ポイント高い。

女性の『高関心群』は83.0%で、県全体より2.0ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は85.7%で、県全体より0.7ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は84.4%で、県全体より0.6ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2 - 2 - 32 - 2 取組3 2 関心度割合(属性別)

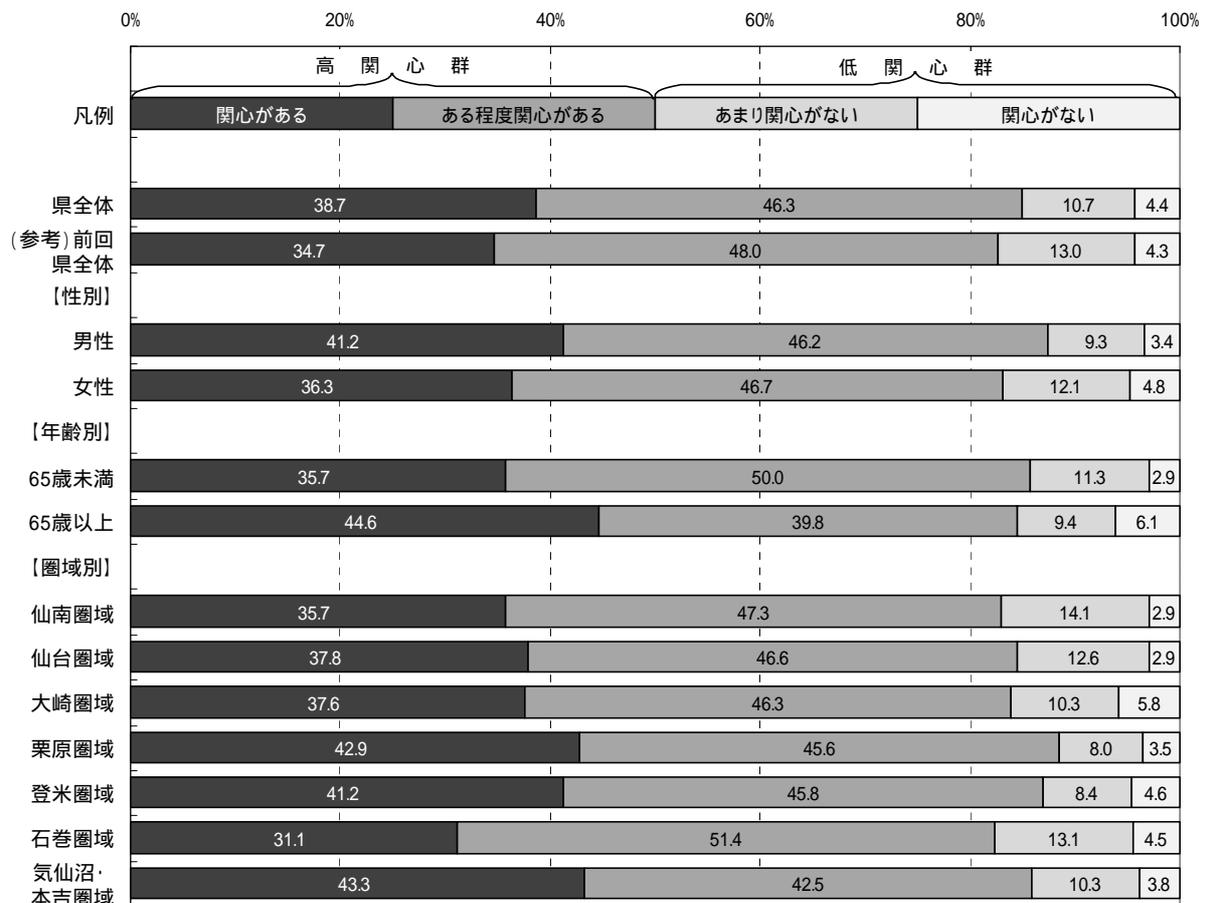


表2-2-32-2 取組32 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	710	850	196	80	1,836	108	1,944
	パーセント	38.7	46.3	10.7	4.4	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	593	822	223	73	1,711	131	1,842
	パーセント	34.7	48.0	13.0	4.3	100.0		
【性別】								
男性	度数	356	399	80	29	864	30	894
	パーセント	41.2	46.2	9.3	3.4	100.0		
女性	度数	339	436	113	45	933	58	991
	パーセント	36.3	46.7	12.1	4.8	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	422	591	134	34	1,181	33	1,214
	パーセント	35.7	50.0	11.3	2.9	100.0		
65歳以上	度数	270	241	57	37	605	59	664
	パーセント	44.6	39.8	9.4	6.1	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	86	114	34	7	241	7	248
	パーセント	35.7	47.3	14.1	2.9	100.0		
仙台圏域	度数	90	111	30	7	238	11	249
	パーセント	37.8	46.6	12.6	2.9	100.0		
大崎圏域	度数	91	112	25	14	242	12	254
	パーセント	37.6	46.3	10.3	5.8	100.0		
栗原圏域	度数	123	131	23	10	287	18	305
	パーセント	42.9	45.6	8.0	3.5	100.0		
登米圏域	度数	108	120	22	12	262	17	279
	パーセント	41.2	45.8	8.4	4.6	100.0		
石巻圏域	度数	69	114	29	10	222	7	229
	パーセント	31.1	51.4	13.1	4.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	113	111	27	10	261	13	274
	パーセント	43.3	42.5	10.3	3.8	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は85.8%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は14.1%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が95.5%、『低重視群』は4.5%となる。

性別

男性の『高重視群』は88.2%で、県全体より2.4ポイント高い。

女性の『高重視群』は84.0%で、県全体より1.8ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は87.4%で、県全体より1.6ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は83.8%で、県全体より2.0ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 3 2 - 3 取組 3 2 重視度割合(属性別)

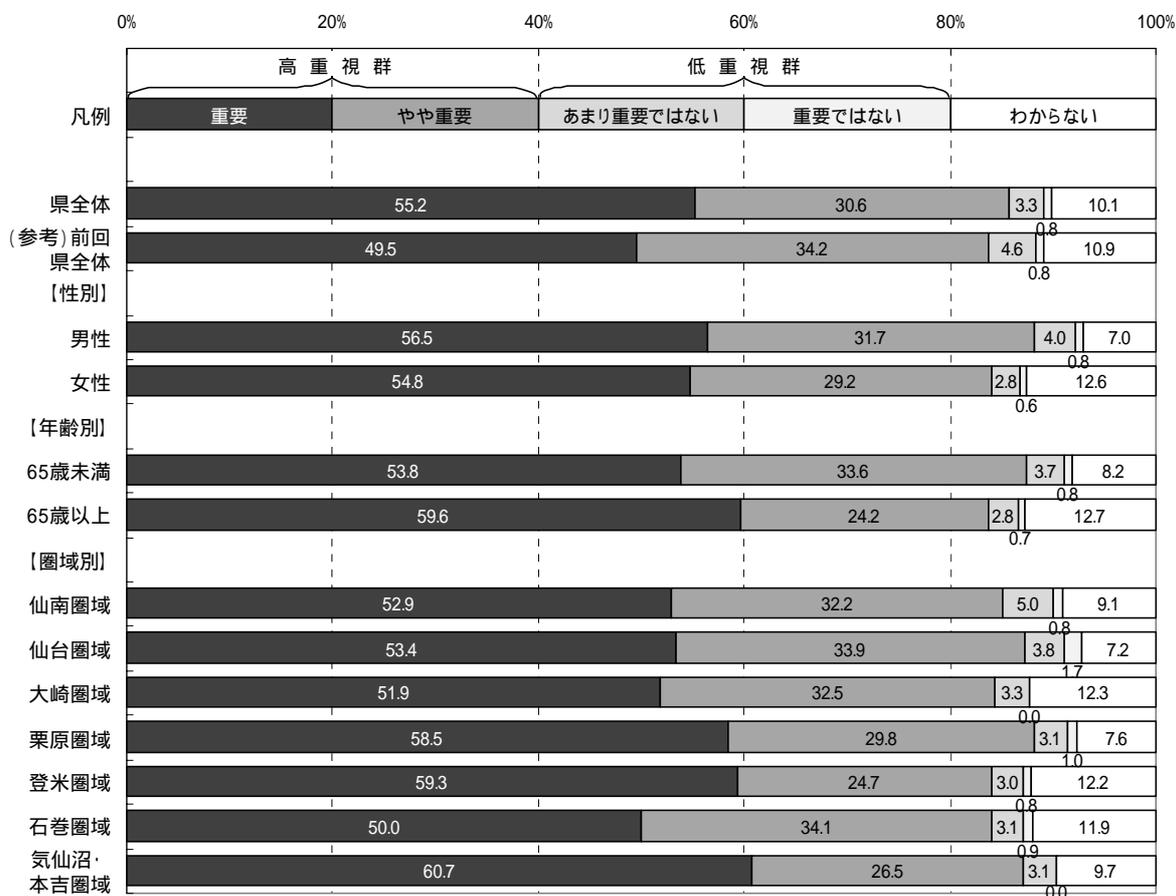


表2-2-32-3 取組32 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	1,015	563	61	14	186	1,839	105	1,944
	パーセント	55.2	30.6	3.3	0.8	10.1	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	61.4	34.1	3.7	0.8		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	852	589	80	14	187	1,722	120	1,842
	パーセント	49.5	34.2	4.6	0.8	10.9	100.0		
【性別】									
男性	度数	490	275	35	7	61	868	26	894
	パーセント	56.5	31.7	4.0	0.8	7.0	100.0		
女性	度数	511	272	26	6	117	932	59	991
	パーセント	54.8	29.2	2.8	0.6	12.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	638	398	44	9	97	1,186	28	1,214
	パーセント	53.8	33.6	3.7	0.8	8.2	100.0		
65歳以上	度数	360	146	17	4	77	604	60	664
	パーセント	59.6	24.2	2.8	0.7	12.7	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	128	78	12	2	22	242	6	248
	パーセント	52.9	32.2	5.0	0.8	9.1	100.0		
仙台圏域	度数	126	80	9	4	17	236	13	249
	パーセント	53.4	33.9	3.8	1.7	7.2	100.0		
大崎圏域	度数	126	79	8	0	30	243	11	254
	パーセント	51.9	32.5	3.3	0.0	12.3	100.0		
栗原圏域	度数	169	86	9	3	22	289	16	305
	パーセント	58.5	29.8	3.1	1.0	7.6	100.0		
登米圏域	度数	156	65	8	2	32	263	16	279
	パーセント	59.3	24.7	3.0	0.8	12.2	100.0		
石巻圏域	度数	113	77	7	2	27	226	3	229
	パーセント	50.0	34.1	3.1	0.9	11.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	156	68	8	0	25	257	17	274
	パーセント	60.7	26.5	3.1	0.0	9.7	100.0		

**【満足度】**（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は42.9%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は27.9%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が60.6%、『不満群』は39.3%となる。

性別

男性の『満足群』は43.5%で、県全体より0.6ポイント高い。

女性の『満足群』は42.4%で、県全体より0.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は38.3%で、県全体より4.6ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は52.3%で、県全体より9.4ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-32-4 取組32 満足度割合(属性別)

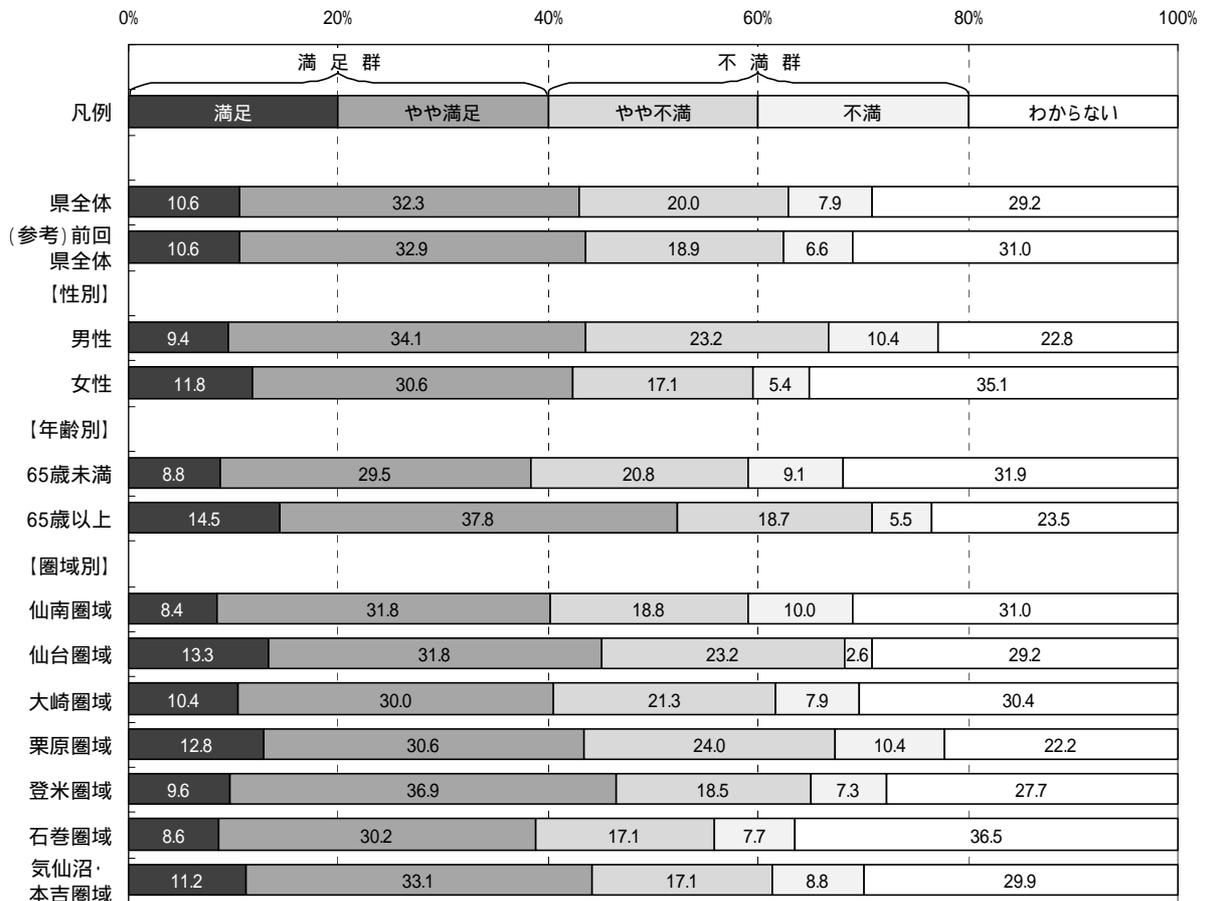


表２－２－３２－４ 取組３２ 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	193	586	362	143	530	1,814	130	1,944
	パーセント	10.6	32.3	20.0	7.9	29.2	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	15.0	45.6	28.2	11.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	180	557	321	111	525	1,694	148	1,842
	パーセント	10.6	32.9	18.9	6.6	31.0	100.0		
【性別】									
男性	度数	81	293	199	89	196	858	36	894
	パーセント	9.4	34.1	23.2	10.4	22.8	100.0		
女性	度数	108	281	157	50	322	918	73	991
	パーセント	11.8	30.6	17.1	5.4	35.1	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	103	346	243	106	373	1,171	43	1,214
	パーセント	8.8	29.5	20.8	9.1	31.9	100.0		
65歳以上	度数	86	225	111	33	140	595	69	664
	パーセント	14.5	37.8	18.7	5.5	23.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	20	76	45	24	74	239	9	248
	パーセント	8.4	31.8	18.8	10.0	31.0	100.0		
仙台圏域	度数	31	74	54	6	68	233	16	249
	パーセント	13.3	31.8	23.2	2.6	29.2	100.0		
大崎圏域	度数	25	72	51	19	73	240	14	254
	パーセント	10.4	30.0	21.3	7.9	30.4	100.0		
栗原圏域	度数	37	88	69	30	64	288	17	305
	パーセント	12.8	30.6	24.0	10.4	22.2	100.0		
登米圏域	度数	25	96	48	19	72	260	19	279
	パーセント	9.6	36.9	18.5	7.3	27.7	100.0		
石巻圏域	度数	19	67	38	17	81	222	7	229
	パーセント	8.6	30.2	17.1	7.7	36.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	28	83	43	22	75	251	23	274
	パーセント	11.2	33.1	17.1	8.8	29.9	100.0		

## 【特に優先すべきと思う項目】

取組 3 2 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。（複数回答可）

- ア 宮城県河川流域情報システムなどによる洪水情報提供体制の充実
- イ 洪水被害を防ぐための効果的な河川の整備と堤防・護岸などの維持管理
- ウ 土砂災害を防ぐための砂防ダムなど土砂災害を防止する施設の整備と維持管理
- エ 宮城県砂防総合情報システムなどによる土砂災害情報提供体制の充実と、土砂災害警戒区域の指定などによる市町村と連携した警戒避難体制の整備
- オ 山地災害を防ぎ、水源のかん養、生活環境の保全を図るための治山施設の整備

（参考：目標とする宮城の姿）

市町村と連携しながら、避難路や災害に関する情報を県民に伝えることで、洪水や土砂崩れなどへの備えが進んでいます。

洪水が起きた場合に大きな被害が予想される、市街地を守るための河川整備が進んでいます。がけ崩れなどが起きた場合に孤立の恐れがある集落や、避難に特別な配慮を要する人が多くいる施設（老人保健施設、保育所、病院など）、避難所、避難路などを守るための対策が進んでいます。

豪雨による土石流の発生など、山地災害が少なくなっています。

### < 概要 >

県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第 1 位から第 3 位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位：	イ(イ)	イ	イ	イ	イ
第2位：	エ(エ)	エ	エ	エ	エ
第3位：	ア(ア)	オ	ア	ウ	ア

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位：	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
第2位：	エ	イ,オ	エ	ウ	エ	エ	エ
第3位：	ア	-	ウ	エ	ア	ア	ア,オ

イ,オ同率

ア,オ同率

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

( )内は、前回の優先順位

図2 - 2 - 3 2 - 5 取組3 2 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

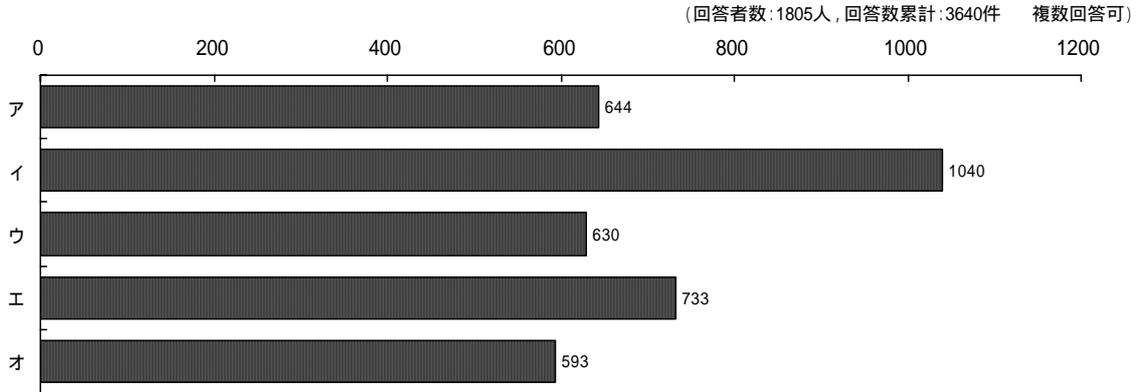
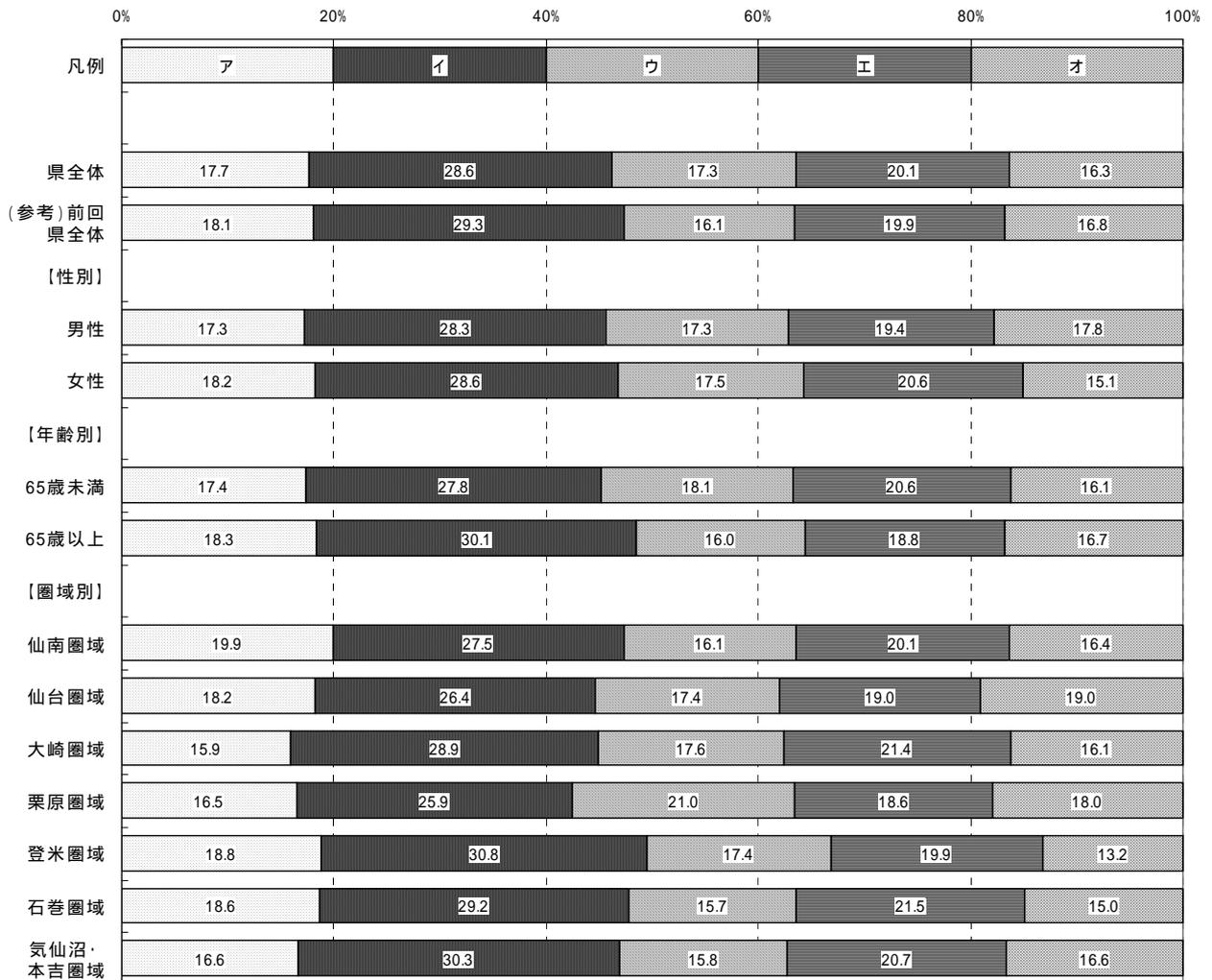


図2 - 2 - 3 2 - 6 取組3 2 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 3.2 「洪水や土砂災害などの大規模自然  
災害対策の推進」

### 取組 3 3 地域ぐるみの防災体制の充実



#### 取組概要

災害発生時の減災には、地域防災力の強化・向上が重要であることから、住民の自主防災活動と企業の防災活動等を促進するとともに、これらの活動のリーダーとなる人材育成や関係団体との連携強化を行うなど防災体制の充実を目指します。

#### 平成 2 0 年度の主な取組

地域防災力を向上させるため、住民による自主防災活動と企業の防災活動を促進するとともに、防災活動の核となる人材育成のための研修を実施しています。

災害時に災害ボランティア活動が迅速かつ効果的にできる体制を整備するため、災害ボランティアコーディネーター養成研修等の実施や関係団体との連携強化を図っています。

災害や事故発生時、重要業務の継続・早期復旧がいち早くできるように、中小企業が取り組む事前対策への支援に努めています。

**【認知度】**（県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか）

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は43.4%、  
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は56.5%である。

性別

男性の『高認知群』は47.4%で、県全体より4.0ポイント高い。

女性の『高認知群』は39.9%で、県全体より3.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は37.8%で、県全体より5.6ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は54.8%で、県全体より11.4ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『高認知群』は35.8%で、県全体より7.6ポイント低い。

栗原圏域の『高認知群』は49.6%で、県全体より6.2ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-33-1 取組33 認知度割合(属性別)

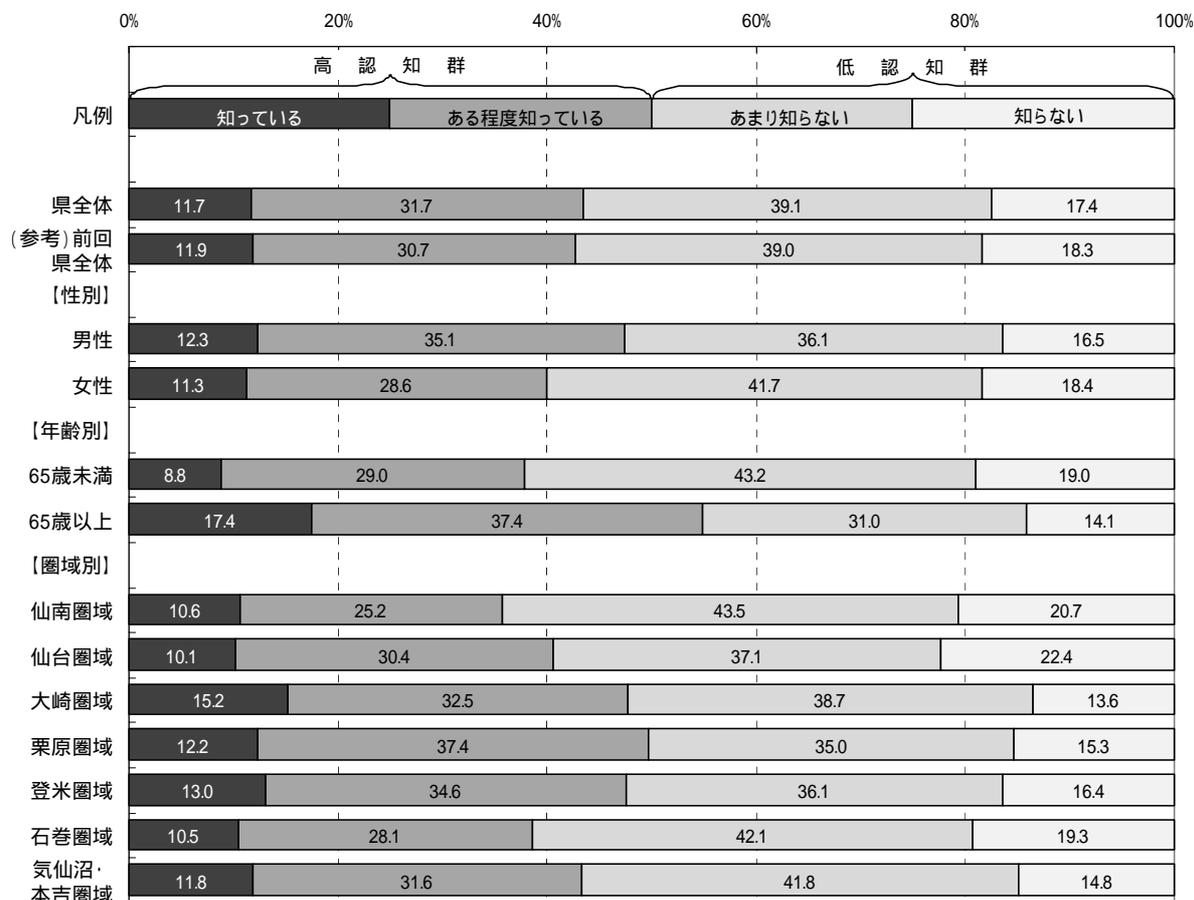


表 2 - 2 - 3 3 - 1 取組 3 3 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	219	592	730	325	1,866	78	1,944
	パーセント	11.7	31.7	39.1	17.4	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	210	542	688	323	1,763	79	1,842
	パーセント	11.9	30.7	39.0	18.3	100.0		
【性別】								
男性	度数	108	307	316	144	875	19	894
	パーセント	12.3	35.1	36.1	16.5	100.0		
女性	度数	107	272	396	175	950	41	991
	パーセント	11.3	28.6	41.7	18.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	105	345	514	226	1,190	24	1,214
	パーセント	8.8	29.0	43.2	19.0	100.0		
65歳以上	度数	109	234	194	88	625	39	664
	パーセント	17.4	37.4	31.0	14.1	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	26	62	107	51	246	2	248
	パーセント	10.6	25.2	43.5	20.7	100.0		
仙台圏域	度数	24	72	88	53	237	12	249
	パーセント	10.1	30.4	37.1	22.4	100.0		
大崎圏域	度数	37	79	94	33	243	11	254
	パーセント	15.2	32.5	38.7	13.6	100.0		
栗原圏域	度数	36	110	103	45	294	11	305
	パーセント	12.2	37.4	35.0	15.3	100.0		
登米圏域	度数	35	93	97	44	269	10	279
	パーセント	13.0	34.6	36.1	16.4	100.0		
石巻圏域	度数	24	64	96	44	228	1	229
	パーセント	10.5	28.1	42.1	19.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	31	83	110	39	263	11	274
	パーセント	11.8	31.6	41.8	14.8	100.0		

**【関心度】** (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は80.8%、  
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は19.2%である。

性別

男性の『高関心群』は82.4%で、県全体より1.6ポイント高い。

女性の『高関心群』は79.3%で、県全体より1.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は80.4%で、県全体より0.4ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は82.0%で、県全体より1.2ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-33-2 取組33 関心度割合(属性別)

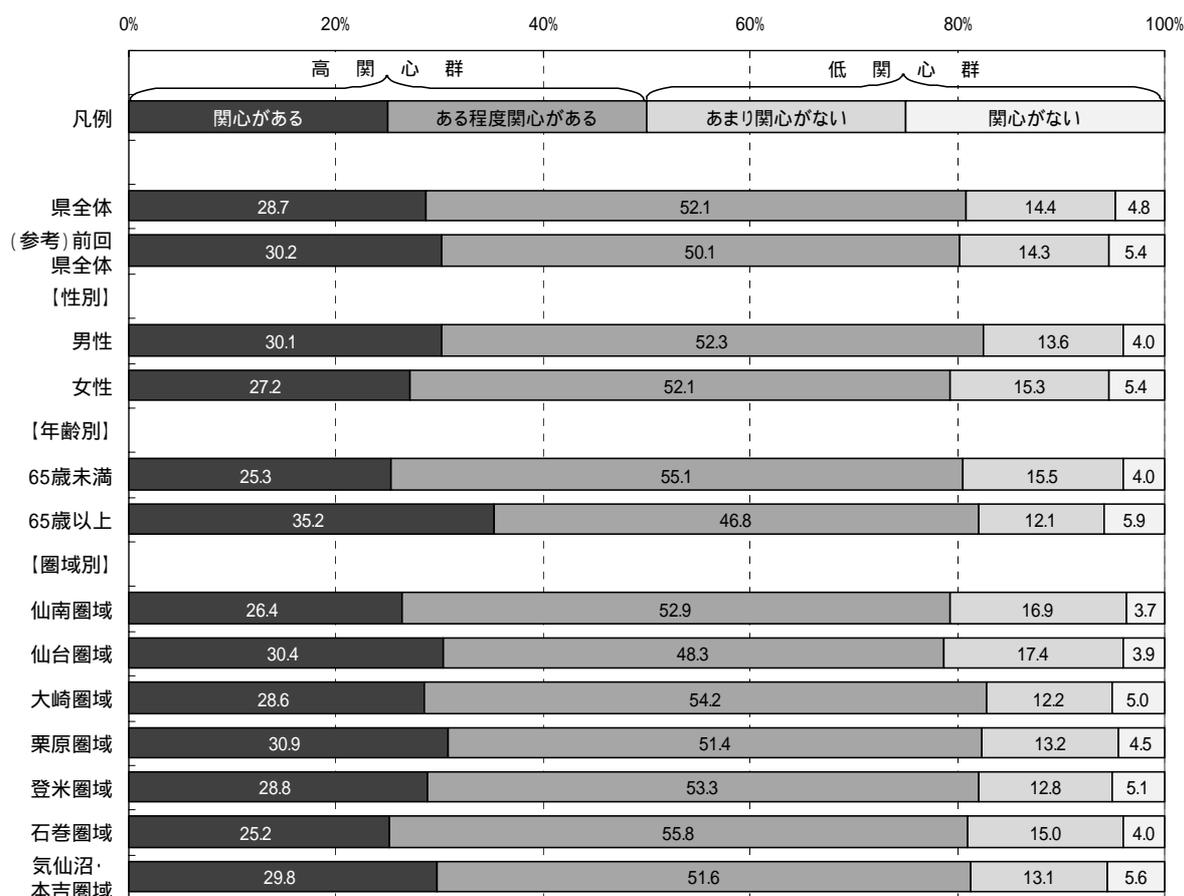


表 2 - 2 - 33 - 2 取組 3 3 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	522	946	262	87	1,817	127	1,944
	パーセント	28.7	52.1	14.4	4.8	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	516	855	245	92	1,708	134	1,842
	パーセント	30.2	50.1	14.3	5.4	100.0		
【性別】								
男性	度数	258	448	116	34	856	38	894
	パーセント	30.1	52.3	13.6	4.0	100.0		
女性	度数	251	480	141	50	922	69	991
	パーセント	27.2	52.1	15.3	5.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	297	646	182	47	1,172	42	1,214
	パーセント	25.3	55.1	15.5	4.0	100.0		
65歳以上	度数	210	279	72	35	596	68	664
	パーセント	35.2	46.8	12.1	5.9	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	64	128	41	9	242	6	248
	パーセント	26.4	52.9	16.9	3.7	100.0		
仙台圏域	度数	70	111	40	9	230	19	249
	パーセント	30.4	48.3	17.4	3.9	100.0		
大崎圏域	度数	68	129	29	12	238	16	254
	パーセント	28.6	54.2	12.2	5.0	100.0		
栗原圏域	度数	89	148	38	13	288	17	305
	パーセント	30.9	51.4	13.2	4.5	100.0		
登米圏域	度数	74	137	33	13	257	22	279
	パーセント	28.8	53.3	12.8	5.1	100.0		
石巻圏域	度数	57	126	34	9	226	3	229
	パーセント	25.2	55.8	15.0	4.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	75	130	33	14	252	22	274
	パーセント	29.8	51.6	13.1	5.6	100.0		

**【重視度】** (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は81.8%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は6.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が92.9%、『低重視群』は7.1%となる。

性別

男性の『高重視群』は83.7%で、県全体より1.9ポイント高い。

女性の『高重視群』は80.1%で、県全体より1.7ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は82.4%で、県全体より0.6ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は81.3%で、県全体より0.5ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-33-3 取組33 重視度割合(属性別)

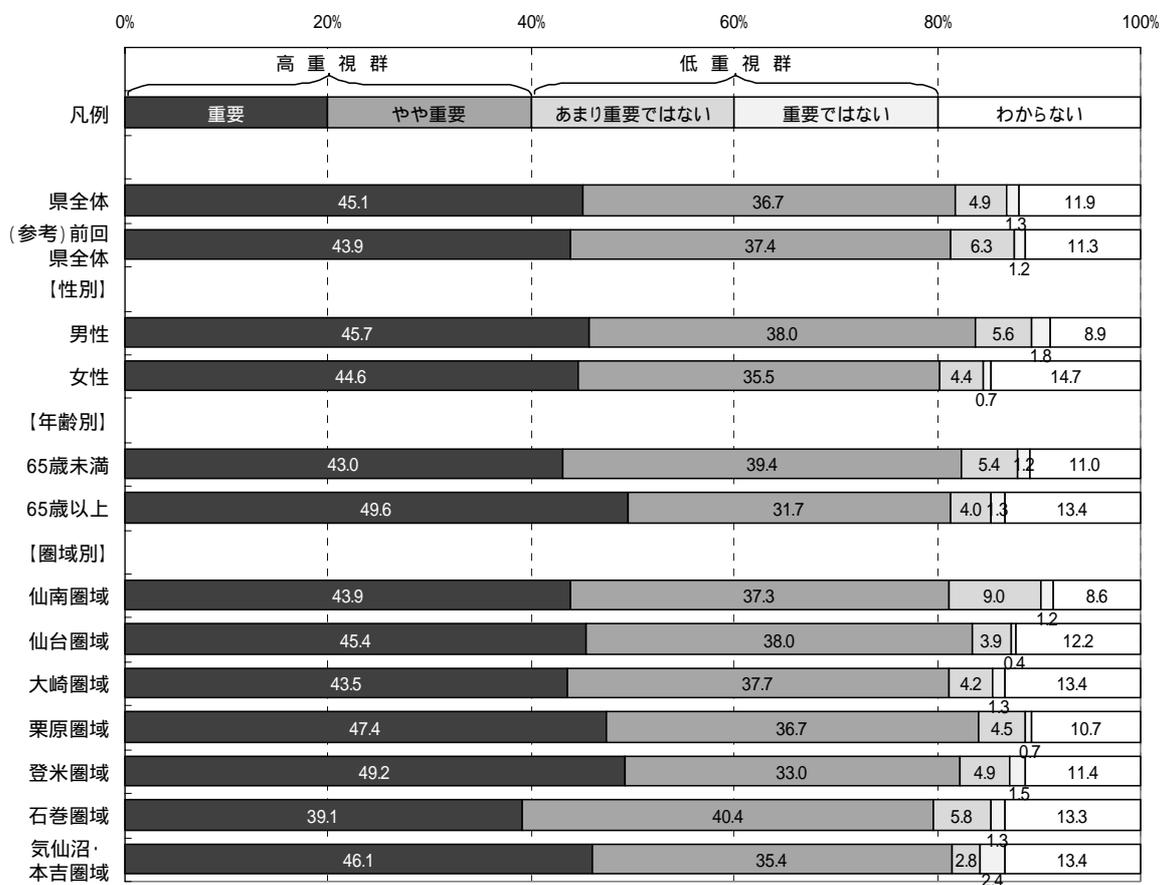


表2-2-33-3 取組33 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	823	670	90	24	218	1,825	119	1,944
	パーセント	45.1	36.7	4.9	1.3	11.9	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	51.2	41.7	5.6	1.5		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	756	644	108	20	195	1,723	119	1,842
	パーセント	43.9	37.4	6.3	1.2	11.3	100.0		
【性別】									
男性	度数	390	324	48	15	76	853	41	894
	パーセント	45.7	38.0	5.6	1.8	8.9	100.0		
女性	度数	417	332	41	7	137	934	57	991
	パーセント	44.6	35.5	4.4	0.7	14.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	507	464	64	14	129	1,178	36	1,214
	パーセント	43.0	39.4	5.4	1.2	11.0	100.0		
65歳以上	度数	297	190	24	8	80	599	65	664
	パーセント	49.6	31.7	4.0	1.3	13.4	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	107	91	22	3	21	244	4	248
	パーセント	43.9	37.3	9.0	1.2	8.6	100.0		
仙台圏域	度数	104	87	9	1	28	229	20	249
	パーセント	45.4	38.0	3.9	0.4	12.2	100.0		
大崎圏域	度数	104	90	10	3	32	239	15	254
	パーセント	43.5	37.7	4.2	1.3	13.4	100.0		
栗原圏域	度数	137	106	13	2	31	289	16	305
	パーセント	47.4	36.7	4.5	0.7	10.7	100.0		
登米圏域	度数	130	87	13	4	30	264	15	279
	パーセント	49.2	33.0	4.9	1.5	11.4	100.0		
石巻圏域	度数	88	91	13	3	30	225	4	229
	パーセント	39.1	40.4	5.8	1.3	13.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	117	90	7	6	34	254	20	274
	パーセント	46.1	35.4	2.8	2.4	13.4	100.0		

**【満足度】** (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は42.1%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は24.0%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が63.7%、『不満群』は36.3%となる。

性別

男性の『満足群』は43.3%で、県全体より1.2ポイント高い。

女性の『満足群』は41.4%で、県全体より0.7ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は37.5%で、県全体より4.6ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は52.1%で、県全体より10.0ポイント高い。

圏域別

大崎圏域の『満足群』は47.3%で、県全体より5.2ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-33-4 取組33 満足度割合(属性別)

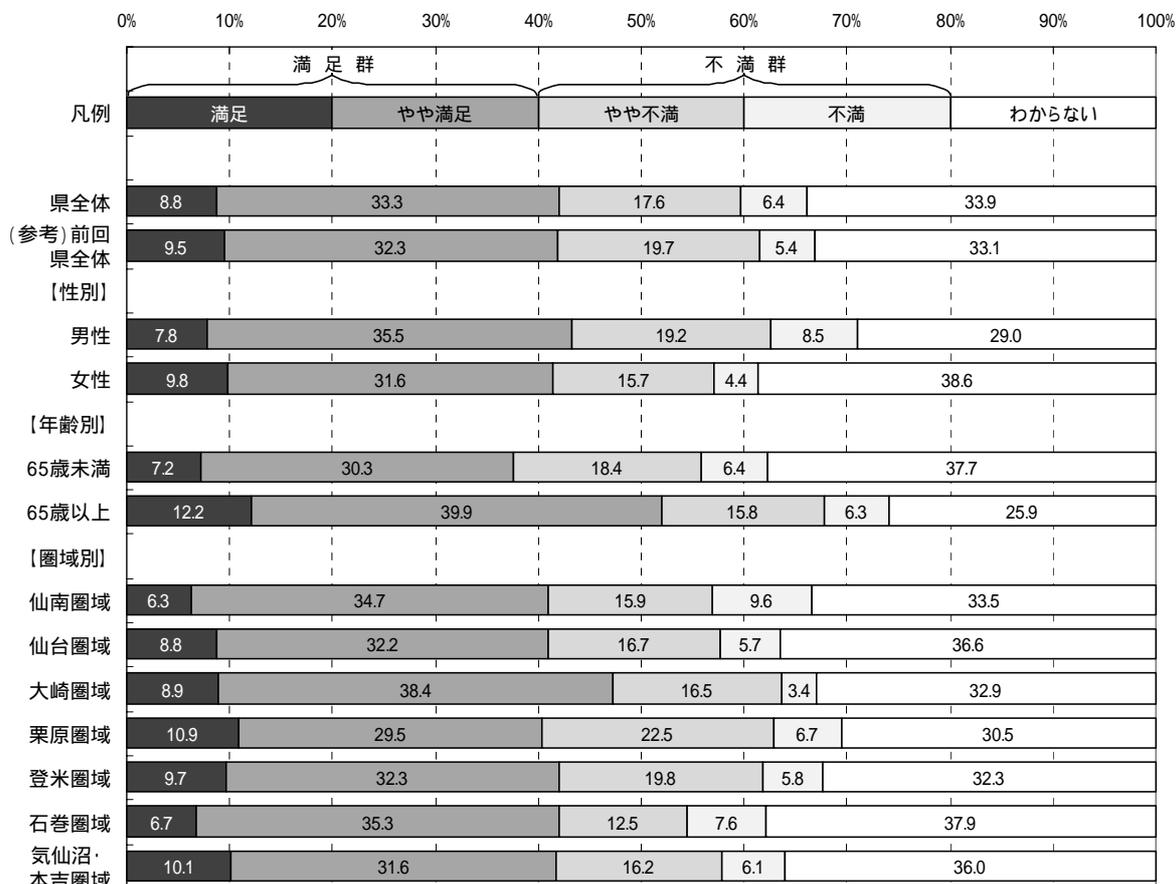


表2-2-33-4 取組33 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	158	598	316	115	609	1,796	148	1,944
	パーセント	8.8	33.3	17.6	6.4	33.9	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	13.3	50.4	26.6	9.7		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	161	547	333	92	560	1,693	149	1,842
	パーセント	9.5	32.3	19.7	5.4	33.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	66	301	163	72	246	848	46	894
	パーセント	7.8	35.5	19.2	8.5	29.0	100.0		
女性	度数	89	288	143	40	352	912	79	991
	パーセント	9.8	31.6	15.7	4.4	38.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	84	353	214	75	439	1,165	49	1,214
	パーセント	7.2	30.3	18.4	6.4	37.7	100.0		
65歳以上	度数	71	233	92	37	151	584	80	664
	パーセント	12.2	39.9	15.8	6.3	25.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	15	83	38	23	80	239	9	248
	パーセント	6.3	34.7	15.9	9.6	33.5	100.0		
仙台圏域	度数	20	73	38	13	83	227	22	249
	パーセント	8.8	32.2	16.7	5.7	36.6	100.0		
大崎圏域	度数	21	91	39	8	78	237	17	254
	パーセント	8.9	38.4	16.5	3.4	32.9	100.0		
栗原圏域	度数	31	84	64	19	87	285	20	305
	パーセント	10.9	29.5	22.5	6.7	30.5	100.0		
登米圏域	度数	25	83	51	15	83	257	22	279
	パーセント	9.7	32.3	19.8	5.8	32.3	100.0		
石巻圏域	度数	15	79	28	17	85	224	5	229
	パーセント	6.7	35.3	12.5	7.6	37.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	25	78	40	15	89	247	27	274
	パーセント	10.1	31.6	16.2	6.1	36.0	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組3-3に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 宮城県総合防災情報システムなど素早い情報伝達のためのネットワークの充実
- イ 高齢者、障害者などの要援護者をはじめとした住民の速やかな避難体制や避難所運営体制づくりへの支援と、地域間の相互応援体制づくりへの支援
- ウ 災害ボランティアの受け入れや活動がスムーズに行えるための体制づくりへの支援と、民間事業者との協力体制づくり
- エ 被災後の速やかな生活安定を支援する体制づくり
- オ 自主防災組織の育成、防災訓練への参加促進、幼年期からの防災教育の充実
- カ 行政や関係機関での、防災に関する深い知識や高い判断能力を持った防災担当職員の育成
- キ 企業や地域において防災活動の中心となる防災リーダーの育成
- ク 企業におけるBCP(緊急時でも被害を最小限に食い止め、事業を継続・早期復旧できるようにするために定める計画)作成など企業の防災対策への支援

(参考:目標とする宮城の姿)

災害情報が、いち早く住民に伝えられ、素早く、的確な避難等ができています。災害時に、避難に特別な配慮を要する高齢者・幼児・障害者等をはじめとした住民の安全が確保され、被災後に、安心して生活を送っています。「自らの身の安全は自らが守る。」という意識が県民に広まり、地域を災害から守る活動に積極的に取り組む人が増えています。行政や防災関係機関の災害対応力が上がっています。また、企業や自主防災組織の防災活動が活発になっています。

<概要>

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	イ(イ)	イ	エ	エ	イ
第2位:	エ(エ)	エ	イ	イ	エ
第3位:	ア(ア)	ア	ア	ア	ア

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	イ	エ	イ	イ	イ,エ	エ	ア
第2位:	エ	イ	エ	エ	-	イ	エ
第3位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	イ

イ,エ同率

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

( )内は、前回の優先順位

図2-2-33-5 取組33 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

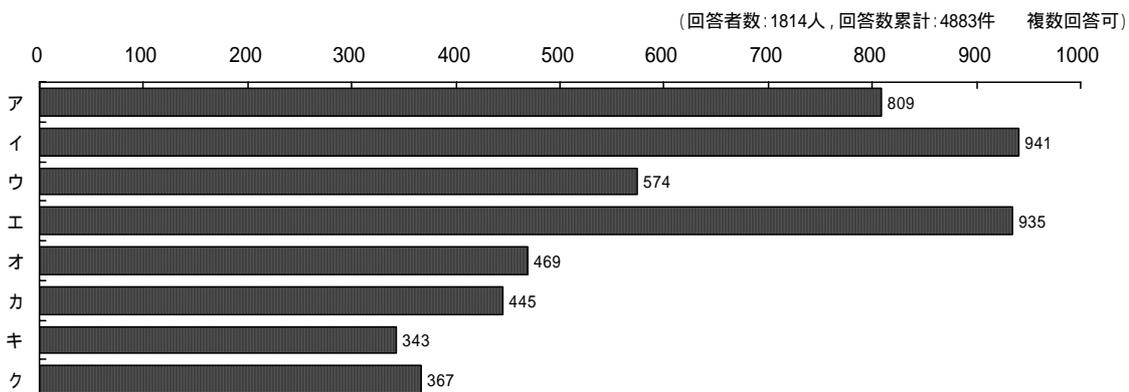
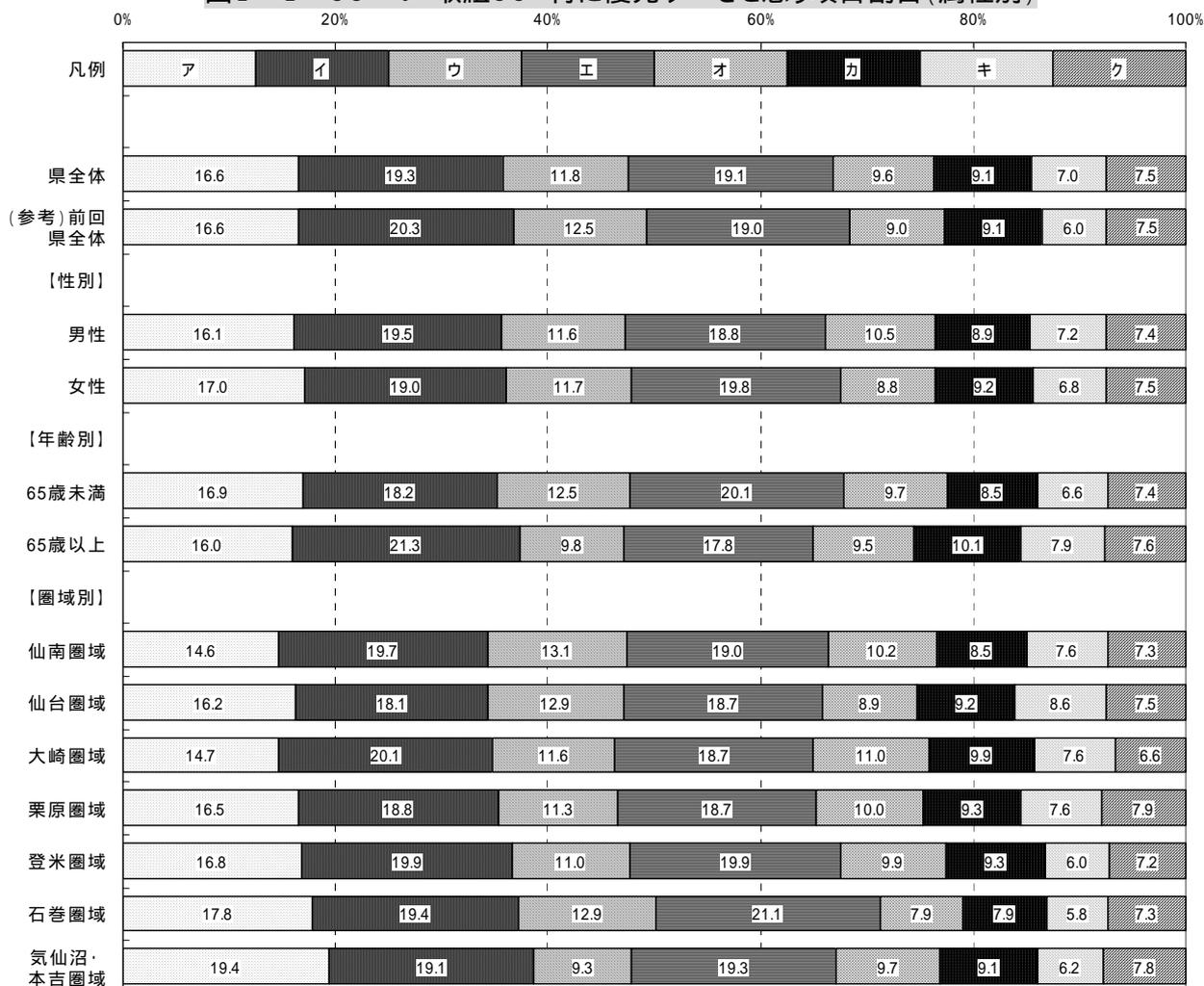


図2-2-33-6 取組33 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

